



佐賀県看護協会

〒849-0201

佐賀市久保田町徳万1997-1

TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603

URL <http://www.saga-nurse.org>

E-mail sagakgkk@coral.ocn.ne.jp

発行責任者 会長 内田 素子



さが

看護協会だより

KANGO



こが こくどう
古賀 毅堂 (1777~1836)
藩校「弘道館」の教授で蘭学の必要性を早くから唱えた。幼少の直正の教育係で、直正に教育の重要性を提言した。

なべしま なおまさ
鍋島 直正 (1814~1871)
佐賀藩10代藩主。藩校「弘道館」で大胆な教育改革を推進。西洋文化の導入で佐賀藩を雄藩へ躍進させた名君。

なべしま しげよし
鍋島 茂義 (1800~1862)
第28代佐賀藩武雄領主。いち早く西洋式砲術や軍備をはじめとする蘭学を導入、佐賀藩の近代化の礎を築いた。

..... CONTENTS

- ② 会長あいさつ
- ③ 佐賀県看護研究学会・職員紹介
- ④ 保健師職能集会・助産師職能集会
- ⑤ 看護師職能Ⅰ集会・看護師職能Ⅱ集会
- ⑥~⑦ ナースセンター
- ⑧ 訪問看護サポートセンター報告
- ⑨ 特集：ステーション紹介
- ⑩~⑳ 平成30年度通常総会関係
- ㉑ 平成30年度佐賀県看護協会教育計画
- ㉒ 会員福利厚生のご紹介
- ㉓ 協会からのお知らせ・理事会報告・編集後記

会員数	5,167 H30年5月現在	保健師	170人	助産師	102人	看護師	4,577人	准看護師	318人
-----	-------------------	-----	------	-----	------	-----	--------	------	------

ごあいさつ

公益社団法人佐賀県看護協会

会長 内田素子



会員の皆様には、日頃より本会活動にご理解・ご協力をいただき心より感謝申し上げます。
この協会だよりは、6月23日に開催する通常総会に向けて、審議事項を会員の皆様に事前にお知らせするという目的がありますので、ぜひご一読の上ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

さて、今年4月には人口減少対応型医療提供体制、地域完結型医療・介護連携推進体制への移行を基本方針とした第7次佐賀県保健医療計画がスタートしました。診療報酬・介護報酬においては、地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進を基本方針として、質の高い在宅医療・訪問看護の確保のための改定がなされました。

こうした中、本会は、平成30年度の重点事業に、継続して①看護の連携強化による地域包括ケアの推進②看護職が働き続けられる職場環境づくりの推進③看護の質の向上のための継続教育の充実の3点と、新たに④会員拡大による組織強化を加えた4点を掲げ、活動してまいります。

地域包括ケアシステムの推進に向けては、看護職がそれぞれの働く場で取り組むことはもとより、まずは看護職間の連携強化を図ることが重要と考えます。

看護職が所属する地域の地域包括ケアシステムに参画するために、地区支部におけるネットワークの強化を図ります。

継続教育の充実に向けては、継続教育の枠組みを見直し「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」と連動した継続教育を目指しました。また、今年度は隔年で実施している認定看護管理者教育課程セカンドレベルを開講します。

会員拡大による組織強化に向けては、地区支部活動、委員会活動を通して会員増を図り、この激動の時にこそ必要とされる組織の力で、看護の質向上に向けた看護政策推進に取り組みます。

「第49回日本看護学会—在宅看護—学術集会」の開催日が目前となりました。事前参加登録は6月14日までとなっています。本県の在宅看護の課題解決や質向上につながる貴重な機会ですので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

本会は昨年、創立70周年を迎え、前回の50周年記念誌発刊から20年間の活動を振り返り、未来への礎となることを願って創立70周年記念誌を発刊いたします。

今年度も会員の皆様のニーズに応え、関係団体とも連携しながら公益社団法人としての社会的役割を十分果たせるよう事業を推進してまいります。

会員の皆様のこれまで以上のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「とどけるん」

離職された看護職の方は、以下のいずれかの方法で届出をしてください。

- ①パソコンまたはスマホで「とどけるん」のサイトから登録する。
- ②退職時に施設に届出票を提出する。
- ③退職時にナースセンターに届出票を郵送する。

看護師等の届出サイト

とどけるん

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>



第36回 佐賀県看護研究学会

～住み慣れた地域で暮らすための看護支援～

副会長 樋渡 泉

平成30年3月10日(土)佐賀市文化会館において第36回佐賀県看護研究学会を開催いたしました。

テーマを「住み慣れた地域で暮らすための看護支援」として、口演8題、示説8題の発表があり、活発な質疑応答が行われました。当日は499名(学生71名を含む)の方に参加していただきました。会場の中ホールで口演、ホワイエで示説発表がありました。双方の会場が隣接し多少混雑がありましたが、ほぼ予定通りに進行することができました。

今年度は口演のあと、佐賀大学医学部看護学科学科長 長家智子教授に抄録作成支援講座として「抄録作成のコツ」についてお話をいただきました。看護研究の取り組みにぜひ活かしていただきたいと思えます。

特別講演は「看護の将来ビジョンと看護職の期待～地域包括ケア時代を見据えて～」というテーマで東京医療保健大学副学長 坂本すが氏にお話しいただきました。先生は前日本看護協会会長として、2025年に向けた看護の挑戦として「看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を公表されています。講演では、日本看護協会会長として何を考え活動してきたか、2025年の超高齢社会に対応する「地域包括システム」づくりに看護が主体的に参画していかなければならない事、リーダーのあり方として、中長期的な視点が必要である等、これからの看護職に求められる力について語られました。

これからの地域づくりは看護の視点が必要であり、社会のニーズに応え変革を起こしていくのは地域の看護職であるとの先生の力強い言々に希望と勇気をいただきました。

次年度の学会に向けて、多くの方の演題応募があることを願っています。

最後になりましたが、ご多忙の中、参加いただきました会員の皆様、早朝からご協力いただきました協力員の皆様に心より感謝申し上げます。



職員紹介



事業部長
杉原 三千代

この度、事業部長として就任いたしました杉原でございます。

臨床経験を活かしつつ会員の皆様の研修ニーズを考慮した研修が実施出来る様に、取り組みたいと思えます。不慣れなことでご迷惑をお掛けすると思えますが、よろしく申し上げます。



総務部 古賀 裕子

4月から事務局総務部で勤務させていただくことになりました、古賀です。

初めての仕事内容もありますが、一日でも早く仕事を覚え、皆様方のお役に立てるよう頑張ります。

どうぞよろしくお願いたします。



ナースセンター 山口 幸恵

12月から総務部とナースセンターを担当させて頂いている、山口です。

一日も早く仕事を覚え、看護協会に貢献できるよう精一杯頑張ります。

どうぞよろしくお願いたします。

保健師職能集会

平成29年11月25日(土) 10:00~11:40
佐賀中部保健福祉事務所別館 参加者:50名

保健師職能委員会委員長 大坪 玲子

今回は、保健師活動のコアである「公衆衛生看護管理」を分かりやすく指導されている札幌市の統括保健師、岡島さおり氏に「地域に責任を持つ保健師活動～みる・つなぐ・動かす～」というテーマで講演をお願いしました。先生の表現は分かりやすく、いくつか紹介します。

- 「在宅看護・訪問看護」と「公衆衛生看護」の違いでは「保健師が行う公衆衛生看護は、依頼や契約を必要とせず、公衆衛生上のニーズで活動ができ、環境への働きかけ、地域資源の創造、制度の枠組みを超えて施策への反映・推進・改革する看護である。」
- 組織の取り組みにおいて、個別支援や地域活動から得た住民・関係機関の声、健康課題や生活課題を分析・評価し、企画の中に織り交ぜていくのが保健師の役割。

また最近、福祉の影響で「介入」という言葉を使用する学生や若手保健師が多いとのことで、受講者もその傾向にありました。対象者の生命、財産が危機に晒されているときには「介入」が必要であるが、主体は住民であり、住民や地域が課題解決力を持てるように支援することが大事との説明を受け、理解ができたようです。

堅苦しい講演ではなく、途中にグループでのディスカッション等もあり、受講者の熱心さも伝わってきて有意義な講演でした。



助産師職能集会

平成29年12月3日(日) 13:30~16:30
看護センター 参加者:29名

助産師職能委員会委員長 中野 理佳

平成29年12月3日(日)看護センターにて平成29年度助産師職能集会を開催致しました。昨年度は分娩期のフィジカルアセスメントと助産ケアについて、今年度はテーマを「開業助産師に聞いてみよう！退院後の産後ケア 私達にできる妊娠～産褥期に必要なケア」とし、しぶや助産院 澁谷貴子院長をお招きしました。7施設29名の方に参加頂き、先生が助産院で行われているケアを中心に講義が行われました。勤務助産師である私達があまり経験できない、産後1か月以後のお母さんや子ども・家族の実状を知り、事例について自分達ができるケア、必要なケアについてグループ討議をしました。先生の熱い講義に、助産師の心意気を学んだという感想がありました。アンケート結果では、受講者全員が「参考になった」「活用できる」と答えられ、受講者の満足度が高いものになりました。また、グループワークを通して他施設の方との意見交換もでき、良かったという意見もありました。



今回の研修会は、日ごろのケアを振り返り、助産師としてのモチベーションを高めてくれるものでした。

看護師職能Ⅰ集会（病院領域）

平成29年12月9日(土) 13:15～15:15
看護センター 参加者:58名

看護師職能Ⅰ委員会委員長 松岡 周子

今年度は目的を「病院の看護職と多職種との連携や協働の実際を学び、課題を共有する」とし、済生会唐津病院看護課長の小松富弘先生を講師にお招きしました。小松先生には「多職種協働時代における病院看護師の役割」というテーマで、自部署の退院支援の他、医療提供体制の変化とそれに伴う私たちの役割と課題など、多岐にわたる内容と示唆に富んだお話を聞くことが出来ました。介護・福祉・在宅領域で働く看護職と病院で働く看護職が、切れ目のない連携でバトンを繋いでいくことの大切さを、改めて感じさせられた講演でした。参加者からも「実践に活かせる内容だった」と好評でした。またアンケートでは、多職種が協働する中で、情報を共有することや職種間の意見をまとめることの難しさを実感しているという意見の一方で、多職種が介入したことで早期に自宅退院が実現したなどの意見が寄せられました。現場で実践を積み重ねながら役割を果たそうと努力する看護師の姿が伺える集会でした。



看護師職能Ⅱ集会（介護・福祉関係施設・在宅等領域）

平成29年10月22日(日) 13:00～16:15
看護センター 参加者:34名

看護師職能委員会Ⅱ委員長 水田 輝子

看護師職能Ⅱ集会では①施設での医療・看護のあり方②「情報通信機器(ICT)を利用した死亡診断書等ガイドライン」の普及、看護師職能Ⅱの広報と組織力強化について説明と新会員についての協力を呼びかけました。

又、今回は「看取り」をテーマに「看護師職能Ⅱ領域で、穏やかな看取りと看取り期の救急搬送を少なくするために、それぞれの施設での事例を通して考える」をサブテーマとし、1.ひらまつ病院訪問看護ステーション 2.訪問看護ステーションバルーン 3.シルバーケア佐賀 4.特別養護老人ホームめづら荘の4施設の事例発表があり、引き続き看取りについての意見交換を行いました。とりわけ看取り期の救急搬送の現状・課題については、活発な意見が出される中、特定行為研修により、施設の看取りがどのように変わるかの不安も上がりました。又、利用者・家族の意思決定支援のための看護職の関わりを学ぶ機会が必要です。

看護職のための共通ツール作成も必要で他職種・他団体との共通した看取りの方向性、具体策の提示、地域に向けた、在宅等の看取りの啓発活動の推進等活発な意見が出ました。アンケート等でも、看護師職能Ⅱの看護職の組織力に向けた力強い支援の声を頂きました。

最後に、「入所者の思い あなたに聞こえますか」のDVD上映を行い「感動をもらった」と、好評をいただきました。



ナースセンターだより

平成29年度 看護職再就業支援研修を開催しました

この研修は、再就業を希望する看護職を対象に佐賀県の委託を受けて佐賀県看護協会が年に2回実施しています。

研修の目的：「最近の看護についての知識・技術の習得を図り、再就業を促進する。」

研修は4日間の講義・演習と2日間の病院などの実習があり受講料は無料です。

未就学児の託児施設も無料で用意しています。

平成29年度は、第1回目 平成29年9月26日(火)～10月3日(火)の土・日を除く6日間

第2回目 平成30年1月30日(火)～2月5日(月)の土・日を除く5日間と、2月19日(火)の合計6日間

1回目は9名、2回目は5名の方が受講されました。

1 今回の研修を知ったきっかけ

看護協会 HP	3
ナースセンターの就業相談	3
ハローワーク就業相談	5
その他	3
計	14

2 研修期間 6日間

①長い	1
②適当	11
③短い	2
計	14

(人数)



3 講義・演習課題

(人数)

講義	時間	講義	時間
看護の動向	70分	在宅診療	70分
看護記録	70分	看護倫理	70分
感染予防対策	150分	急変時の看護	120分
医療安全	150分	訪問看護	70分
採血静脈注射	150分	交流会	70分
フィジカルアセスメント	150分		



【講義・演習の意見】

- ・看護の動向では、医療・看護の動向、特定行為や看護職の届出制度について学ぶことができた。
- ・看護記録では、個人情報保護や客観的と主観的な記録について事例があり違いがわかりやすかった。
- ・感染予防対策では、標準予防策を見直すことが出来た。また演習がありわかりやすかった。
- ・医療安全では、ヒューマンエラーの考え方がわかった。講義は事例が多くわかりやすかった。
- ・採血静脈注射では、演習で改めて手技を確認する事が出来た。
- ・フィジカルアセスメントでは、症状を医学的知識を基に観ていくことがわかった。もっと時間がほしかった。
- ・心肺蘇生の演習の実技では、先生に1人1人確認して頂き自信につながった。
- ・看護倫理では看護師としての心構え、考え方を再確認でき、自分自身を見直すことが出来た。
- ・訪問看護では、病院とは違った視点を持ち、看護ができることに魅力を感じた。
- ・在宅診療では、その人らしく過ごす為に多職種が目標に向かっているやりがいのある環境だと思った。
- ・交流会では、現場の生の声を聞くことができ、またいろいろな情報を知ることができて興味を持てた。

4 実習について 2日間

1) 期間

①長い	0
②ちょうど良い	10
③短い	1
④()日くらいが良い	2
計	13

2) 内容

①大変役に立った	10
②少し役に立った	3
③物足りなかった	0
④役に立たなかった	0
計	13

()の中には、1日と3日の希望があった。



【実習について意見】

- ・看護業務の効率化と安全の確保について知ることが出来た。また看護の楽しさを思い出せた。
- ・丁寧に対応して頂き有意義な時間をすごすことができた。
- ・ブランクがあるので、指導ナースについて見学・実施できるのは良かった。
- ・離職前と現在の医療看護技術の違いを知ることが出来た。復職前に現場の雰囲気を感じられた。
- ・久しぶりに患者と触れ合うことが出来て楽しかった。
- ・復職支援のための実習ということを共有してあり、計画通り見学や指導者の基で実施が出来た。
- ・電子カルテに触れることが出来て、どのようなものか知ることが出来た。

5 今後の復帰について

1) 復帰時期

①すぐに	9
②いずれ	7
③未定	1
計	17

複数回答

2) 希望施設

①病院	6
②診療所	5
③訪問看護	4
④特養、福祉施設	3
⑤その他	4
計	22

複数回答

3) 雇用関係

①正規職員	6
②正規職員以外	8
計	14

4) 勤務時間

①フルタイム夜勤有	3
②日勤のみ	3
③パート	7
無回答	1
計	14

6 今回の研修について

1) 知識・技術を学ぶ機会になったか

はい	13
いいえ	0
無回答	1
計	14

2) 再就業を考える機会となったか

はい	13
いいえ	0
無回答	1
計	14

【意見・感想】

- ・内容がすばらしく講師の意識の高さを感じた。 ・働きたいという動機を行動に変える機会になった。
- ・知識をアップデートできた。 ・受講料が無料だったので受けることができ、ありがたかった。
- ・潜在看護師のたくさんの方に研修を知って頂きたい。
- ・同じようなプランクがあり頑張ろうとしている人たちと学ぶことが出来励みになった。
- ・このような研修がある事を知らなかったのもっと知名度を上げると沢山の方が復職に繋がると思った。
- ・就職相談も親身に相談の乗ってもらえた。
- ・第2回研修は、2月という时期的に子供の体調管理や雪などの影響もあり日程がずれば良いと思う。

以上のような受講生の意見を基に今後は、各市の市報などを利用して1人でも多くの方に、研修を知ってもらえるよう広報していきたいと思います。

また、大変好評であり、時間が足りなかったという意見が多かったフィジカルアセスメントの講義時間及び第2回目の開催時期を検討し、さらに受講しやすく、興味のある研修内容にしていきたいと思います。

病院・看護学校訪問

ナースセンターでは、顔の見える関係作りを大切にしたいと考え、平成27年度から県内の病院・看護学校を訪問しております。

平成29年度は、中央ナースセンターの「復職する看護師の70%が200床以下の中規模病院に就業している」というデータをもとに、200床以下の病院86箇所と看護学校12箇所を対象に訪問しました。

訪問の際に以下の内容でおこないました。

- ① 看護部長や副看護部長、事務長などと直接面談し、求人施設のユーザー登録について説明を行いました。
- ② 再就業者への教育体制、子育て支援体制、メンタルサポート、看護部及び施設のアピールポイント、看護学生の就労支援など求人票では見えない細かい情報の収集を行いました。
- ③ 平成28年度の、求人・求職に関するデータと再就業支援研修のアンケート結果をもとに意見交換を行いました。
- ④ 看護学校を訪問し、職員を対象に届出制度について説明を行い届出制度への理解を促しました。

訪問の結果、

- ・新規求人施設登録数7件、ID・パスワードを更新した施設数17件、重複登録を整理した施設数8件でした。
 - ・求人・求職に関するデータと再就業支援研修のアンケート結果から、求職者が関心を持つ求職票の内容について説明した結果、求人票に自施設のPRや、より具体的でわかりやすい表現の求人票が増えました。
 - ・看護学校では、看護職離職時の届出制度について説明させていただきました。
 - ・情報収集した結果を求人・求職のマッチングに活用する事ができました。
- その結果、平成28年度と比較して常勤・非常勤の就業者数が増加し(図1参照)、また離職届出登録者数もH28年129人からH29年210人に増加しました。

各施設の皆様には、訪問時には、大変お世話になりありがとうございました。今後も、訪問したときの病院施設の雰囲気など求人票では見えない細かい情報も求職者に提供しさらにマッチングにつなげていきたいと思います。

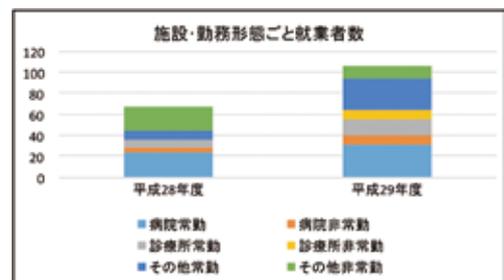


図 1

佐賀県訪問看護サポートセンター

平成27年1月からスタートした訪問看護サポートセンター事業も、昨年、佐賀県の委託事業として新たなスタートを致しました。

* 人材育成、人材確保事業として

今年度は訪問看護師の資質向上のための研修を下記通り開催。訪問看護ステーションへの新卒者受け入れのため「新卒者等訪問看護師育成支援プログラム」を作成。県内訪問看護事業所からの看護協会訪問看護ステーションへ、1事業所8名、退院支援スタッフ2施設26名の受け入れ研修をしました。

* 個別相談対応事業

平成29年度の相談件数は、180件
介護保険、医療保険等保険請求に関する相談、訪問看護指示書に関する相談、看護ケアや新規設立についての相談が、寄せられました。

* 訪問看護の普及啓発事業

看護協会ホームページを追加更新し看護師、県民向けを表示。又、介護支援専門員代表者へ訪問看護啓発への協力を依頼。平成30年度も訪問看護の推進や訪問看護師の資質向上に関する研修会を実施していきます。昨年同様にご利用いただけましたら幸いです。

平成29年度 訪問看護の資質向上のための研修

時 期	開催場所	受講者数	内 容
H29.7.15(土)	看護センター	35名	「乳がん患者のQOL向上のための最新情報とリンパ浮腫セルフケアについて」 QOL 総合研究所代表取締役 高柳 茂氏 佐賀大学医学部附属病院リンパ浮腫外来 渡辺 直子氏
H29.8.26(土)	看護センター	41名	「ストーマケアの基本」― 造設・合併症 ― ひらまつ病院副院長 隅 健次先生
H29.9.30(土)	看護センター	56名	「ストーマケアの実際について」佐賀県医療センター看護専門外来 皮膚排泄ケア認定看護師 江口 忍氏
H29.11.25(土)	看護センター	43名	「人と人との繋がりの中で」― ぼぼねっとで繋がる在宅看護 ― NPO 法人ややのいえ 理事長 榊原 千秋氏
H29.12.9(土)	看護センター	41名	精神に障害を抱えた利用者とその家族の支援について ― 訪問看護師の役割 ― プラスワン訪問看護ステーション 精神科看護認定看護師 松本 和彦氏
H30.1.27(土)	看護センター	42名	「在宅小児看護の実際とやりがいについて」― 私の出会った子供たち ― 訪問看護ステーションゆうあい 小森 ヒロ子氏
H30.2.10(土)	看護センター	10名	グループワーク：複数の訪問看護事業所が関わる難病支援 (訪問看護ステーションスタッフ) ― その問題と課題 ―

管理者研修

時 期	開催場所	受講者数	内 容
H29.6.17(土)	看護センター	80名	「新卒訪問看護師の実践と訪問看護ステーション採用や運営」 ケアプロ訪問看護ステーション東京 小瀬 文彰氏
H29.10.28(土)	看護センター	37名	「地域に必要とされる訪問看護ステーションとなるために」 福岡赤十字訪問看護ステーション 看護副部長 がん看護専門看護師 管理者 井手麻利子氏



担当：訪問看護サポートセンター長 永松五百重

特集

佐賀県訪問看護ステーション特集 ～北部地区～

医療の中心が病院から在宅へ向かっている今、各地で訪問看護の需要が高まっています。今回より各地区の訪問看護ステーションの紹介をしていきたいと思ひます。

【まつのみ訪問看護ステーション】

所長：勝山つるえ

- スタッフの人数
 - ・看護師…常勤:2名 非常勤:2名 病棟兼務:1名
 - ・リハビリ…PT:2名 OT:1名
- 1日の件数
 - ・1人平均4件/日
- ステーションの特徴
 - ・離島への訪問サービスを実施しています。
 - ・他事業所との密な連携を実施しており、利用者のQOLの向上を図っています。
 - ・人工呼吸器を装着している重症利用者に対する外出支援(花見や散歩)を訪問リハビリテーションスタッフ、家族と協力して実施しています。
 - ・難病利用者の退院支援を積極的に実施しています。
 - ・癌末期患者を積極的に受け入れています。
- 限られた時間の中、仕事をすすめるにあたり工夫していること
 - ・事業所内で連携し情報を共有することで、どのスタッフでも利用者一人ひとりに対して同様のケア・対応が出来るようにしています。
- やりがい(アピール)
 - ・利用者のQOL向上を目指し、利用者さんの笑顔を見ること！



【訪問看護ステーションなでしこ唐津】

所長：秋庭 美幸

- スタッフの人数
 - 看護師:9名(管理職含む)
- 1日の訪問件数
 - 平日は20～25件、土日で計20件程度
- ステーションの特徴
 - 訪問看護・指定居宅事業所・訪問介護事業所の3つがまつら荘(介護老人保健施設)1Fフロアにあります。そのため様々な事例に対してお互いに助言しながら在宅生活支援を考えることができます。また、県内外の小児・難病・がん看護研修へ計画的に参加、母体病院の研修会と連携し、情報の共有、人材育成に努めています。
- 限られた時間の中で仕事をすすめるにあたり工夫していること
 - 利用者とその家族の性格を考慮し、訪問先によってケアや傾聴の優先順位を変化させます。ケア内容の統一を図るため、写真入りの手技書を作成しています。困った場合は、いつでも連絡相談がとれるような体制にしています。今後はタブレットの導入により、効率化を目指しています。
- アピールしたいこと
 - 24時間対応体制をとっており、小児から高齢者、難病・がん・慢性疾患・看取りなども含めて様々な在宅支援をしています。唐津市内、玄海町、長崎県の鷹島も含めて広範囲に訪問しています。



出席される方は、中途退席のないようお願いいたします。

平成30年度 佐賀県看護協会通常総会プログラム

期 日 平成30年6月23日(土)
場 所 佐賀市文化会館

時 間	内 容
9 : 30 9 : 55	開場 オリエンテーション
10 : 00	開会 物故会員への黙祷 会長挨拶 佐賀県看護協会会長表彰 日本看護協会会長表彰受賞者紹介 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露
10 : 20	議長団選出 議事録署名人決定 審議事項 第一号議案 佐賀県看護協会名誉会員の推薦(案)について 第二号議案 定款並びに定款細則の一部改正(案)について 第三号議案 平成29年度決算報告(案)について 第四号議案 平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について 第五号議案 平成30年度改選役員及び推薦委員の選出について
10 : 50	選挙
11 : 05	報告事項 報告事項1 平成29年度事業報告 報告事項2 平成30年度事業計画 報告事項3 平成30年度収支予算
11 : 30	地区支部集会
12 : 00	選挙結果発表 退任役員への謝辞 退任役員代表挨拶 新役員紹介 新役員代表挨拶 会歌合唱
12 : 30	閉会

平成30年度 佐賀県看護協会通常総会提出議題（案）

第一号議案

公益社団法人佐賀県看護協会名誉会員の推薦について（案）

（提案説明）

公益社団法人佐賀県看護協会名誉会員は、定款第3章第5条に「看護事業に顕著な功績があり且つ、本会に功労があった保健師、助産師、看護師又は准看護師で、理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの」とある。

佐賀県看護協会の会長として、また日本看護協会北九州地区理事として本会の発展に長年にわたり多大な貢献をされた下記1名を推薦する。

お名前	年齢	看護業務功績・役員歴
ひろしげ 廣重 みやこ 都	77	<p>昭和37年3月岐阜県立高等看護学院卒業、同年4月から佐賀県立病院好生館（現佐賀県医療センター好生館）に看護師として勤務し、昭和45年から15年間は佐賀県立衛生専門学院（現佐賀県立総合看護学院）で専任教員・教務主任を歴任し教育に専念した。昭和63年佐賀県立病院好生館の副総看護師長に昇任し、看護教育と臨床看護の経験を生かし、看護の理論と臨床看護を繋げ、看護職の人材育成に尽力した。平成8年保健学科、助産学科、第一看護学科（3年課程）第二看護学科（2年課程）を有する佐賀県立総合看護学院の学院長に就任し、優れた人格と深い見識を持って看護教育にあたり、優秀な人材を多数送り出すとともに、時代の要請に応えるべく教育内容のレベルアップに尽力した。</p> <p>【看護協会における功績】</p> <p>平成11年佐賀県看護協会会長に就任。3期6年間会長として、協会発展のために尽力した。また、平成17年から5年間は日本看護協会北九州地区理事として日本看護協会の運営及び事業推進に関わり、協会の発展に多大な貢献した。</p> <p>平成14年「看護研修会館将来構想特別委員会」を設置し、新会館設立に取り組み、平成20年4月竣工した。</p> <p>継続教育については、キャリア開発からみた継続教育の基準に対応して体系化を図り、教育計画の枠組みを見直し、これに基づいて年間教育計画をたてて充実を図った。平成16年度日本看護学会（成人看護Ⅱ）を開催し、学会長として学会を成功裏に収めた。平成7年開設された「佐賀県看護協会訪問看護ステーション」を軌道にのせ、平成16年新築移転、「医療と介護のニーズを併せもつ方への通所サービス」モデル事業を実施し、訪問看護の推進に貢献した。</p>

第二号議案

公益社団法人佐賀県看護協会定款及び定款細則の一部改正（案）

（提案説明）

これまで、公益社団法人佐賀県看護協会においては、施設維持管理資金確保のため拠出金として、正会員1人当たり60,000円を募ってきたが、安定した施設維持管理資金確保のため、入会金を新たに設けることとした。

このため、公益社団法人佐賀県看護協会定款及び定款細則の一部改正が必要である。

1) 定款

現 行	改 正 (案)
<p>（会費）</p> <p>第7条 正会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。</p>	<p>（<u>入会金及び会費</u>）</p> <p>第7条 正会員は、総会において別に定める<u>入会金及び会費</u>を納入しなければならない。</p> <p>附則</p> <p>1 この定款の改正は、平成30年6月23日から施行し、平成30年4月1日から適用する。</p>

2) 定款細則

現 行	改 正 (案)
<p>第3章 会費</p> <p>（会費）</p> <p>第5条 会費は、1箇年8,000円とする。（日本看護協会の会費を除く。）</p> <p><u>2</u> 定款第5条第1項第2号に定める名誉会員については、会費を免除するものとする。</p> <p>（細則の変更）</p> <p>第35条 この細則を変更しようとするときは、理事会の決議による。ただし、第5条第1項「会費」の額を変更しようとするときは、総会の決議を得なければならない。</p>	<p>第3章 <u>入会金及び会費</u></p> <p>（会費）</p> <p>第5条 会費は、1箇年8,000円とする。（日本看護協会の会費を除く。）</p> <p><u>2</u> <u>入会金は、30,000円とし、一括して納入するものとする。ただし、会長が別に定めるところにより分割納付及び減免を認める。</u></p> <p><u>3</u> <u>入会金は、施設維持管理資金に充てる。</u></p> <p><u>4</u> 定款第5条第1項第2号に定める名誉会員については、会費を免除するものとする。</p> <p>（細則の変更）</p> <p>第35条 この細則を変更しようとするときは、理事会の決議による。ただし、第5条第1項「会費」の額<u>及び第2項「入会金」</u>の額を変更しようとするときは、総会の決議を得なければならない。</p> <p>附則</p> <p>改正後の細則は、平成30年6月23日から施行し、平成30年4月1日から適用する。</p>

第三号議案

平成29年度 決算報告(案)

平成29年度 決算の概要

平成29年度は、公益社団法人としては5回目の決算である。

本会の決算書は、20年会計基準に基づき大きく3つの会計区分となっている。すなわち、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つである。

1 事業活動収入について

- (1) 会費収入は44,824,000円で、見込会員数を47名下回り、予算比で376,000円の減収となった。
- (2) 事業収入は267,520,645円、事業受託収入は28,808,450円、補助金等収入は10,402,270円であった。
- (3) 寄附金収入のうち、使途が指定されている15,898,123円は会員からの看護センター施設維持管理資金抛入金、1,400,000円は使途が指定されていない個人、法人からの寄附であった。
- (4) 雑収入は4,485,803円で、受取利息、実習生受入謝金の他、役職員旅費に対する日看協負担額の受け入れ等であった。

2 事業活動支出について

- (1) 公益目的事業会計の事業費支出の合計額は316,026,605円であった。
- (2) 公益目的事業会計のうち、全ての定款事業に共通で支出した事業費支出の合計は37,049,777円で、それ以外の定款事業ごとの内訳は次のとおりであった。
 - ① 教育等看護の質の向上に関する事業 23,909,152円
 - ② 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業 1,481,377円
 - ③ 看護業務、看護制度の改善に関する事業 435,511円
 - ④ 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業 238,142,022円
 - ⑤ 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業 12,781,206円
 - ⑥ 災害による被災者の支援に関する事業 174,204円
 - ⑦ 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業 793,286円
 - ⑧ 施設の貸与事業 0円
 - ⑨ その他本会の目的を達成するために必要な事業 1,260,070円
- (3) 収益事業等会計の事業費支出は13,758,323円で、主な事業は、施設の貸与事業、会員福利厚生事業等であるが、平成29年度は、旧看護協会施設を佐賀県へ寄付しているため11,119,988円が含まれている。
- (4) 法人会計の管理費支出は27,652,005円であった。
- (5) 本会は、公益法人として、次の財務三基準を満たすことを求められている。

- ① 収支相償、これは、公益目的事業に係る収入が費用をこえないこと。すなわち、事業実施に要する費用を上回る収入を上げてはいけない。

公益目的事業の経常収益341,372,584円が公益目的事業の経常費用316,026,605円を25,345,979円超えており、施設整備積立金等を積み立てても、公益目的事業に係る収入が費用を超えていることから、基準を満たしていない。

- ② 公益目的事業比率が、収益等事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。
全事業の経常費用357,569,523円に対する、公益目的事業の経常費用316,026,605円の比率が88.4%と、50%を超えるため基準を満たしている。
- ③ 遊休財産額、すなわち、現在、今後とも、特に使用されていない財産の価格の合計額が、公益目的事業を1年間、実施するのに必要な額をこえないこと。

平成29年度末の遊休財産額204,022,259円で、公益目的事業の経常費用316,026,605円を超えないため基準を満たしている。

したがって、本会の平成29年度決算は、財務三基準のうち、収支相償を満たしていないことから、平成30年度の事業実施におきましては、公益法人として財務三基準を満たすよう、適正に運営管理を行ってまいります。

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	202,099,700	169,927,976	32,171,724
未 収 金	46,406,908	52,644,685	△ 6,237,777
立 替 金	347,615	0	347,615
前 払 費 用	18,255	18,483	△ 228
流 動 資 産 合 計	248,872,478	222,591,144	26,281,334
2. 固 定 資 産			
(2) 特 定 資 産			
施 設 整 備 積 立 金	10,950,000	8,000,000	2,950,000
看 護 セ ン タ ー 準 備 積 立 金	109,279,206	93,258,390	16,020,816
土 地	80,683,591	80,683,591	0
建 物	190,864,921	195,374,291	△ 4,509,370
建 物 附 属 設 備	47,302,842	56,067,731	△ 8,764,889
構 築 物	6,312,393	8,127,546	△ 1,815,153
車 両 運 搬 具	2,653,120	4,369,460	△ 1,716,340
什 器 備 品	5,551,238	7,158,163	△ 1,606,925
保 証 金	47,410	47,410	0
特 定 資 産 合 計	453,644,721	453,086,582	558,139
(3) その他固定資産			
建 物	0	11,119,988	△ 11,119,988
建 物 附 属 設 備	1,869,482	2,102,114	△ 232,632
構 築 物	883,325	986,469	△ 103,144
車 両 運 搬 具	1,970,860	1,918,575	52,285
什 器 備 品	6,245,370	7,268,805	△ 1,023,435
土 地	80,359,585	80,359,585	0
リ ー ス 資 産	1,788,480	2,384,640	△ 596,160
保 証 金	114,610	107,110	7,500
そ の 他 固 定 資 産 合 計	93,231,712	106,247,286	△ 13,015,574
固 定 資 産 合 計	546,876,433	559,333,868	△ 12,457,435
資 産 合 計	795,748,911	781,925,012	13,823,899
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	1,145,491	946,661	198,830
前 受 金	33,944,000	31,200,000	2,744,000
預 り 金	10,598,311	4,748,334	5,849,977
賞 与 引 当 金	6,198,700	7,439,000	△ 1,240,300
未 払 消 費 税 等	827,500	1,374,300	△ 546,800
流 動 負 債 合 計	52,714,002	45,708,295	7,005,707
2. 固 定 負 債			
長 期 借 入 金	28,239,000	33,795,000	△ 5,556,000
リ ー ス 債 務	1,838,160	2,434,320	△ 596,160
固 定 負 債 合 計	30,077,160	36,229,320	△ 6,152,160
負 債 合 計	82,791,162	81,937,615	△ 853,547

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国 庫 補 助 金	1,119,982	1,229,310	△ 109,328
地 方 公 共 団 体 補 助 金	17,816,878	19,733,770	△ 1,916,892
民 間 補 助 金	112,501	450,001	△ 337,500
寄 付 金	291,302,293	288,079,212	3,223,081
受 贈 車 両 運 搬 具	2	2	0
指 定 正 味 財 産 合 計	310,351,656	309,492,295	859,361
（うち特定資産への充当額）	(310,351,656)	(309,492,295)	(859,361)
2. 一般正味財産	402,606,093	390,495,102	12,110,991
（うち特定資産への充当額）	(143,331,487)	(143,594,287)	(△ 262,800)
正 味 財 産 合 計	712,957,749	699,987,397	12,970,352
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	795,748,911	781,925,012	13,823,899

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	508,641
普通預金	佐賀銀行 本店営業部	運転資金として	24,093,705
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	692,858
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	10,605,774
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	25,757,969
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	31,000,000
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	32,259,279
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	107,518
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	25,000,000
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	2,755,832
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	320,538
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	5,955,792
	佐賀銀行 本店営業部	同 上	1,796,910
	佐賀共栄銀行 佐大通り支店	同 上	3,879,749
	ゆうちょ銀行 久保田郵便局	同 上	55,365
	ゆうちょ銀行 福岡貯金事務センター	同 上	309,770
小計			164,591,059
定期預金	佐賀信用金庫 天祐支店		3,500,000
	佐賀信用金庫 天祐支店		3,500,000
	佐賀共栄銀行 佐大通り支店		30,000,000
小計			37,000,000
現金預金 計			202,099,700
未収金		介護報酬、診療報酬他	46,406,908
立替金		全国学会費	347,615
前払費用		クレディセゾン他	18,255
流動資産合計			248,872,478
(固定資産)			
特定資産			
施設整備積立金	佐賀銀行 本店営業部		10,950,000
看護センター準備積立金	佐賀銀行 本店営業部他		109,279,206
土地	久保田町大字徳万1997-1、 1998-2 3616㎡	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	59,302,440
			2,097,773
			19,283,378
小計			80,683,591
建物	久保田町大字徳万1997-1	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	110,603,719
			3,841,481
	佐賀市緑小路130-1	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	35,312,074
			41,107,647
小計			190,864,921
建物附属設備	佐賀県看護協会建物設備他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	39,536,633
			0
			761,966
			7,004,243
小計			47,302,842
構築物	佐賀県看護協会外構工事他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	5,791,289
			51,128
			469,976
小計			6,312,393

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	車両運搬具	車両12台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	2,653,120
	什器備品	書架・ベッド他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	5,194,049
			収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	35,044 322,145
	小計			5,551,238
保証金	リサイクル預託金	公益目的事業の用に供している。	47,410	
その他固定資産	建物附属設備	複合型事業水道設備工事	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。	1,869,480 2
	小計			1,869,482
	構築物	駐輪場屋根工事他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	883,325
	車両運搬具	車両16台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	1,970,860
	什器備品	パソコン他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	6,119,630
			収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	11,942 113,798
	小計			6,245,370
	土地	久保田町大字徳万1998-3 1639㎡(駐車場) 佐賀市緑小路130-1 2010.8㎡	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	36,998,700
			公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	43,360,885
	小計			80,359,585
	リース資産	事務用印刷機	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	1,788,480
保証金	リサイクル預託金	公益目的事業の用に供している。	114,610	
固定資産合計				543,876,433
資産合計				795,748,911
(流動負債)				
	未払金		割賦未払金他	1,145,491
	前受金		会員会費	33,944,000
	預り金	一般的預り金 費用等講師謝金等預り金 職員給与等預り金 社会保険料等預り金 住民税預り金	源泉所得税	2,176,850
			源泉所得税	55,365
			社会保険料	253,858
			住民税	7,673,238
小計			439,000	
小計				10,598,311
	賞与引当金			6,198,700
	未払消費税等			827,500
流動負債合計				52,714,002
(固定負債)				
	長期借入金 リース債務	佐賀銀行 本店営業部	設備資金	28,239,000
				1,838,160
固定負債合計				30,077,160
負債合計				82,791,162
正味財産				712,957,749

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取員受取会費	[44,824,000]	[45,320,000]	[△ 496,000]
正会業受取会費	44,824,000	45,320,000	△ 496,000
事業収益	[267,520,645]	[256,399,650]	[11,120,995]
研修会事業収益	13,625,100	18,497,300	△ 4,872,200
介護保険収益	119,101,900	100,657,027	18,444,873
療養費用収益	107,032,244	108,449,003	△ 1,416,759
居宅介護サービス計画費収益	10,091,910	8,511,166	1,580,744
療養通所介護費収益	9,590,068	9,364,246	225,822
児童発達支援収益	7,117,114	8,019,791	△ 902,677
施設使用料収益	0	1,658,605	△ 1,658,605
電気使用料収益	893,750	1,120,000	△ 226,250
販売手数料収益	23,900	73,188	△ 49,288
事業受託料収益	44,659	49,324	△ 4,665
事業受託収益	[28,808,450]	[30,065,470]	[△ 1,257,020]
佐賀県受託事業収益	27,672,000	28,922,000	△ 1,250,000
民間受託事業収益	1,136,450	1,143,470	△ 7,020
受取補助金等	[10,402,270]	[14,676,975]	[△ 4,274,705]
受取地方公共団体補助金	42,000	3,938,000	△ 3,896,000
受取日本看護協会助成金	7,996,550	8,000,330	△ 3,780
受取補助金等振替額	2,363,720	2,738,645	△ 374,925
受取寄付金	[14,075,042]	[14,411,467]	[△ 336,425]
受取寄付金	1,400,000	1,400,000	0
受取寄付金振替額	12,675,042	13,011,467	△ 336,425
雑収益	[4,485,803]	[2,478,452]	[2,007,351]
雑取利息	178,388	159,728	18,660
雑取収益	4,307,415	2,318,724	1,988,691
引当金戻入額	[0]	[17,310]	[△ 17,310]
賞与引当金戻入	0	17,310	△ 17,310
他会計からの繰入額	[132,590]	[0]	[132,590]
他会計からの繰入額	132,590	0	132,590
経常収益計	370,248,800	363,369,324	6,879,476
(2) 経常費用			
事業費用	[329,784,928]	[329,942,416]	[△ 157,488]
役員報酬	2,043,750	2,071,000	△ 27,250
給料員報酬	139,385,789	137,627,144	1,758,645
雇員報酬	47,412,894	46,876,819	536,075
臨時雇員賃金	8,783,275	14,950,745	△ 6,167,470
退職給付費用	5,725,538	8,003,157	△ 2,277,619
退職金繰入額	635,965	2,053,359	△ 1,417,394
職員福利厚生費	4,429,650	4,108,050	321,600
職員福利厚生費	726,574	706,860	19,714
職会議交運通搬費	31,306,062	31,049,679	256,383
旅費	258,296	381,609	△ 123,313
通信費	3,198,352	4,641,310	△ 1,442,958
減価償却費	3,920,009	4,019,064	△ 99,055
医療消耗品	1,445,483	1,107,867	337,616
衛生消耗品	21,636,149	22,076,849	△ 440,700
衛生消耗品	90,588	203,422	△ 112,834
衛生消耗品	1,395,077	1,575,294	△ 180,217
衛生消耗品	622,830	408,888	213,942
衛生消耗品	5,958,744	5,894,827	63,917
印刷製本費	1,207,620	749,286	458,334
印刷製本費	3,261,227	2,705,364	555,863
燃料費	2,667,682	2,313,017	354,665
燃料費	4,604,614	4,676,224	△ 71,610
食料費	3,415,935	5,912,904	△ 2,496,969
食料費	2,561,507	1,560,646	1,000,861
諸謝金	1,925,718	1,893,980	31,738
諸謝金	419,500	545,000	△ 125,500
租税公課	2,254,658	2,499,058	△ 244,400
支払金	619,253	591,142	28,111
支払金	11,119,988	0	11,119,988
支払手数料	8,746,479	8,881,685	△ 135,206
支払手数料	569,184	670,024	△ 100,840
徴収金	630,653	678,274	△ 47,621
徴収金	0	5,360	△ 5,360
雑賞与引当金繰入	114,300	344,737	△ 230,437
雑賞与引当金繰入	5,787,585	7,169,772	△ 1,382,187

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
返還金賠償金補償金等	904,000	990,000	△ 86,000
管 理 費	[27,652,005]	[25,805,172]	[1,846,833]
役員報酬	8,701,584	8,228,000	473,584
給講員料	5,049,175	5,127,384	△ 78,209
退職給付	63,000	109,000	△ 46,000
職員給金	175,702	139,723	35,979
職員福利	88,420	66,000	22,420
会議交際費	1,574,973	1,593,458	△ 18,485
旅費	838,229	85,083	753,146
通信運搬費	3,247,898	3,084,395	163,503
消耗什器備品	195,395	317,791	△ 122,396
消耗什器備品	2,967,988	3,029,036	△ 61,048
修繕費	13,682	0	13,682
印刷費	151,812	91,760	60,052
燃料費	136,028	597	135,431
光熱費	621,648	460,620	161,028
賃借料	6,513	5,304	1,209
保険料	542,262	589,253	△ 46,991
税金	444,247	263,083	181,164
支払金	31,062	31,062	0
支払金	13,742	14,942	△ 1,200
支払金	511,040	450,202	60,838
支払金	0	10,000	△ 10,000
支払金	1,749,267	1,688,427	60,840
支払金	35,429	33,950	1,479
支払金	81,794	116,874	△ 35,080
支払金	411,115	269,228	141,887
支払金	[132,590]	[0]	[132,590]
支払金	132,590	0	132,590
経常費用計	357,569,523	355,747,588	1,821,935
評価損益等調整前当期経常増減額	12,679,277	7,621,736	5,057,541
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	12,679,277	7,621,736	5,057,541
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	[9,999]	[19,998]	[△ 9,999]
車両運搬具売却益	9,999	19,998	△ 9,999
経常外収益計	9,999	19,998	△ 9,999
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[578,285]	[165,479]	[412,806]
附属設備除却損	82,083	0	82,083
車両運搬具除却損	0	1	△ 1
什器備品除却損	1,945	165,478	△ 163,533
建物除却損	494,257	0	494,257
過年度減価償却費	[0]	[1,302]	[△ 1,302]
過年度減価償却費	0	1,302	△ 1,302
経常外費用計	578,285	166,781	411,504
当期経常外増減額	△ 568,286	△ 146,783	△ 421,503
当期一般正味財産増減額	12,110,991	7,474,953	4,636,038
一般正味財産期首残高	390,495,102	383,020,149	7,474,953
一般正味財産期末残高	402,606,093	390,495,102	12,110,991
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[0]	[929,302]	[△ 929,302]
受取国庫補助金	0	1,053,000	△ 1,053,000
過年度修正	0	△ 123,698	123,698
受取寄付金	[15,898,123]	[20,452,000]	[△ 4,553,877]
募入金	15,898,123	20,452,000	△ 4,553,877
一般正味財産への振替額	[△ 15,038,762]	[△ 15,750,112]	[711,350]
一般正味財産への振替額	△ 15,038,762	△ 15,750,112	711,350
当期指定正味財産増減額	859,361	5,631,190	△ 4,771,829
指定正味財産期首残高	309,492,295	303,861,105	5,631,190
指定正味財産期末残高	310,351,656	309,492,295	859,361
III 正味財産期末残高	712,957,749	699,987,397	12,970,352

正味財産増減

平成29年4月1日から

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受 取 会 費	22,412,000	0	0	0	0
正 会 員 受 取 会 費	22,412,000	0	0	0	0
事 業 収 益	13,625,100	170,877,549	9,590,068	7,830,414	64,635,205
研 修 会 事 業 収 益	13,625,100	0	0	0	0
介 護 保 険 収 益	0	58,403,480	0	0	60,698,420
療 養 費 収 益	0	107,032,244	0	0	0
利 用 料 収 益	0	5,441,825	0	713,300	3,936,785
居宅介護サービス計画費収益	0	0	9,590,068	0	0
療養通所介護費収益	0	0	0	7,117,114	0
施 設 使 用 料 収 益	0	0	0	0	0
電 気 使 用 料 収 益	0	0	0	0	0
販 売 手 数 料 収 益	0	0	0	0	0
事 業 受 託 収 益	20,474,450	8,334,000	0	0	0
佐 賀 県 受 託 事 業 収 益	19,338,000	8,334,000	0	0	0
民 間 受 託 事 業 収 益	1,136,450	0	0	0	0
受 取 補 助 金 等	7,996,550	2,354,295	0	0	51,425
受取地方公共団体補助金	0	42,000	0	0	0
受取日本看護協会助成金	7,996,550	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	2,312,295	0	0	51,425
受 取 寄 付 金	10,632,239	0	0	0	284,407
受 取 寄 付 金	1,400,000	0	0	0	0
受取寄付金振替額	9,232,239	0	0	0	284,407
雑 収 益	350,362	1,791,843	28	19	40
受 取 利 息	176,522	433	28	19	40
雑 収 益	173,840	1,791,410	0	0	0
他 会 計 か ら の 繰 入 額	32,679	68,597	4,339	2,420	24,555
他 会 計 か ら の 繰 入 額	32,679	68,597	4,339	2,420	24,555
経 常 収 益 計	75,523,380	183,426,284	9,594,435	7,832,853	64,995,632
(2) 経常費用					
事 業 費	77,884,583	163,504,903	10,341,707	5,768,389	58,527,023
役 員 報 酬	2,043,750	0	0	0	0
給 料 手 当	23,959,012	67,635,190	7,523,831	3,448,601	36,703,752
雇 員 報 酬	632,000	41,808,192	0	0	4,972,702
講 師 報 酬	8,447,275	336,000	0	0	0
臨 時 雇 用 賃 金	3,267,056	2,398,357	60,125	0	0
退 職 給 付 費 用	378,656	9,864	0	17,198	225,315
中 退 金 繰 入 額	564,460	2,459,070	204,000	81,000	1,120,000
会 員 福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0
職 員 福 利 厚 生 費	4,913,036	17,840,513	1,272,051	579,404	6,682,347
会 議 費	235,468	22,106	0	0	722
旅 費 交 通 費	2,355,797	838,380	0	0	0

計算書内訳表

平成30年3月31日まで

(単位：円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	収 1	他 1	小 計			
22,412,000	0	1,000,000	1,000,000	21,412,000	0	44,824,000
22,412,000	0	1,000,000	1,000,000	21,412,000	0	44,824,000
266,558,336	962,309	0	962,309	0	0	267,520,645
13,625,100	0	0	0	0	0	13,625,100
119,101,900	0	0	0	0	0	119,101,900
107,032,244	0	0	0	0	0	107,032,244
10,091,910	0	0	0	0	0	10,091,910
9,590,068	0	0	0	0	0	9,590,068
7,117,114	0	0	0	0	0	7,117,114
0	893,750	0	893,750	0	0	893,750
0	23,900	0	23,900	0	0	23,900
0	44,659	0	44,659	0	0	44,659
28,808,450	0	0	0	0	0	28,808,450
27,672,000	0	0	0	0	0	27,672,000
1,136,450	0	0	0	0	0	1,136,450
10,402,270	0	0	0	0	0	10,402,270
42,000	0	0	0	0	0	42,000
7,996,550	0	0	0	0	0	7,996,550
2,363,720	0	0	0	0	0	2,363,720
10,916,646	309,880	0	309,880	2,848,516	0	14,075,042
1,400,000	0	0	0	0	0	1,400,000
9,516,646	309,880	0	309,880	2,848,516	0	12,675,042
2,142,292	925,685	0	925,685	1,417,826	0	4,485,803
177,042	0	0	0	1,346	0	178,388
1,965,250	925,685	0	925,685	1,416,480	0	4,307,415
132,590	0	0	0	0	0	132,590
132,590	0	0	0	0	0	132,590
341,372,584	2,197,874	1,000,000	3,197,874	25,678,342	0	370,248,800
316,026,605	12,958,019	800,304	13,758,323	0	0	329,784,928
2,043,750	0	0	0	0	0	2,043,750
139,270,386	64,536	50,867	115,403	0	0	139,385,789
47,412,894	0	0	0	0	0	47,412,894
8,783,275	0	0	0	0	0	8,783,275
5,725,538	0	0	0	0	0	5,725,538
631,033	3,699	1,233	4,932	0	0	635,965
4,428,530	280	840	1,120	0	0	4,429,650
0	0	726,574	726,574	0	0	726,574
31,287,351	10,515	8,196	18,711	0	0	31,306,062
258,296	0	0	0	0	0	258,296
3,194,177	0	4,175	4,175	0	0	3,198,352

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
通 信 運 搬 費	1,767,536	2,020,466	90,326	5,188	35,927
車 両 費	16,168	876,657	0	196,179	356,479
減 価 償 却 費	11,279,024	8,052,617	110,981	211,712	805,713
医 療 消 耗 器 材 費	0	90,588	0	0	0
衛 生 材 料 費	0	1,388,613	0	0	6,464
消 耗 什 器 備 品 費	50,000	396,576	0	0	176,000
消 耗 品 費	2,563,167	2,423,953	58,876	115,708	796,666
修 繕 費	641,087	491,136	0	0	60,600
印 刷 製 本 費	2,504,147	684,180	8,100	0	64,800
燃 料 費	23,829	2,130,175	86,141	86,141	341,284
光 熱 水 料 費	1,667,691	1,950,996	53,143	203,753	670,052
賃 借 料	1,554,518	842,210	21,546	194,303	509,650
給 食 材 料 費	0	0	0	275,152	2,286,355
保 險 料	131,639	1,482,300	29,340	70,320	208,740
諸 謝 金	359,500	60,000	0	0	0
租 税 公 課	1,310,271	741,005	2,988	14,400	65,668
支 払 負 担 金	202,193	197,940	137,500	5,000	76,620
支 払 寄 付 金	0	0	0	0	0
委 託 費	5,297,588	2,164,773	242,520	255,200	694,342
支 払 利 息	0	569,184	0	0	0
支 払 手 数 料	345,485	265,052	2,589	9,130	8,383
雑 費	41,698	66,010	0	0	6,592
賞 与 引 当 金 繰 入	1,332,532	2,358,800	437,650	0	1,651,850
返 還 金 賠 償 金 補 償 金 等	0	904,000	0	0	0
管 理 費	0	0	0	0	0
役 員 報 酬	0	0	0	0	0
給 料 手 当	0	0	0	0	0
講 師 報 酬	0	0	0	0	0
退 職 給 付 費 用	0	0	0	0	0
中 退 金 繰 入 額	0	0	0	0	0
職 員 福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
旅 費 交 通 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0
消 耗 什 器 備 品 費	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
修 繕 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
燃 料 費	0	0	0	0	0
光 熱 水 料 費	0	0	0	0	0
賃 借 料	0	0	0	0	0
保 險 料	0	0	0	0	0
租 税 公 課	0	0	0	0	0
支 払 負 担 金	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0

(単位：円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	収 1	他 1	小 計			
3,919,443	283	283	566	0	0	3,920,009
1,445,483	0	0	0	0	0	1,445,483
20,460,047	1,176,102	0	1,176,102	0	0	21,636,149
90,588	0	0	0	0	0	90,588
1,395,077	0	0	0	0	0	1,395,077
622,576	127	127	254	0	0	622,830
5,958,370	187	187	374	0	0	5,958,744
1,192,823	14,797	0	14,797	0	0	1,207,620
3,261,227	0	0	0	0	0	3,261,227
2,667,570	56	56	112	0	0	2,667,682
4,545,635	58,979	0	58,979	0	0	4,604,614
3,122,227	293,354	354	293,708	0	0	3,415,935
2,561,507	0	0	0	0	0	2,561,507
1,922,339	3,379	0	3,379	0	0	1,925,718
419,500	0	0	0	0	0	419,500
2,134,332	120,326	0	120,326	0	0	2,254,658
619,253	0	0	0	0	0	619,253
0	11,119,988	0	11,119,988	0	0	11,119,988
8,654,423	87,743	4,313	92,056	0	0	8,746,479
569,184	0	0	0	0	0	569,184
630,639	7	7	14	0	0	630,653
114,300	0	0	0	0	0	114,300
5,780,832	3,661	3,092	6,753	0	0	5,787,585
904,000	0	0	0	0	0	904,000
0	0	0	0	27,652,005	0	27,652,005
0	0	0	0	8,701,584	0	8,701,584
0	0	0	0	5,049,175	0	5,049,175
0	0	0	0	63,000	0	63,000
0	0	0	0	175,702	0	175,702
0	0	0	0	88,420	0	88,420
0	0	0	0	1,574,973	0	1,574,973
0	0	0	0	838,229	0	838,229
0	0	0	0	3,247,898	0	3,247,898
0	0	0	0	195,395	0	195,395
0	0	0	0	2,967,988	0	2,967,988
0	0	0	0	13,682	0	13,682
0	0	0	0	151,812	0	151,812
0	0	0	0	136,028	0	136,028
0	0	0	0	621,648	0	621,648
0	0	0	0	6,513	0	6,513
0	0	0	0	542,262	0	542,262
0	0	0	0	444,247	0	444,247
0	0	0	0	31,062	0	31,062
0	0	0	0	13,742	0	13,742
0	0	0	0	511,040	0	511,040
0	0	0	0	1,749,267	0	1,749,267

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
支 払 手 数 料	0	0	0	0	0
雑 費	0	0	0	0	0
賞 与 引 当 金 繰 入	0	0	0	0	0
他 会 計 へ の 繰 出 額	0	0	0	0	0
他 会 計 へ の 繰 出 額	0	0	0	0	0
経 常 費 用 計	77,884,583	163,504,903	10,341,707	5,768,389	58,527,023
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,361,203	19,921,381	△ 747,272	2,064,464	6,468,609
損益評価等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,261,203	19,921,381	△ 747,272	2,064,464	6,468,609
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固 定 資 産 売 却 益	0	9,999	0	0	0
車 両 運 搬 具 売 却 益	0	9,999	0	0	0
経 常 外 収 益 計	0	9,999	0	0	0
(2) 経常外費用					
固 定 資 産 除 却 損	0	578,285	0	0	0
附 属 設 備 除 却 損	0	82,083	0	0	0
什 器 備 品 除 却 損	0	1,945	0	0	0
建 物 除 却 損	0	494,257	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	578,285	0	0	0
当期経常外増減額	0	△ 568,286	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,361,203	19,353,095	△ 747,272	2,064,464	6,468,609
一般正味財産期首残高	158,040,315	115,115,186	4,006,671	2,426,838	9,024,756
一般正味財産期末残高	155,679,112	134,468,281	3,259,399	4,491,302	15,493,365
II 指定正味財産増減の部					
受 取 寄 付 金	15,898,123	0	0	0	0
募 金 収 益	15,898,123	0	0	0	0
施設維持管理資金拠出金	15,898,123	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 9,232,239	△ 2,312,295	0	0	△ 335,832
一般正味財産への振替額	△ 9,232,239	△ 2,312,295	0	0	△ 335,832
国 庫 補 助 金	0	△ 57,903	0	0	△ 51,425
地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	△ 1,916,892	0	0	0
民 間 補 助 金	0	△ 337,500	0	0	0
寄 付 金	△ 9,232,239	0	0	0	△ 284,407
当期指定正味財産増減額	6,665,884	△ 2,312,295	0	0	△ 335,832
指定正味財産期首残高	236,681,112	20,986,151	0	9,912	1,215,854
指定正味財産期末残高	243,346,996	18,673,856	0	9,912	880,022
III 正味財産期末残高	399,026,108	153,142,137	3,259,399	4,501,214	16,373,387

(単位：円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	収 1	他 1	小 計			
0	0	0	0	35,429	0	35,429
0	0	0	0	81,794	0	81,794
0	0	0	0	411,115	0	411,115
0	0	132,590	132,590	0	0	132,590
0	0	132,590	132,590	0	0	132,590
316,026,605	12,958,019	932,894	13,890,913	27,652,005	0	357,569,523
25,345,979	△ 10,760,145	67,106	△ 10,693,039	△ 1,973,663	0	12,679,277
0	0	0	0	0	0	0
25,345,979	△ 10,760,145	67,106	△ 10,693,039	△ 1,973,663	0	12,679,277
9,999	0	0	0	0	0	9,999
9,999	0	0	0	0	0	9,999
9,999	0	0	0	0	0	9,999
			0			
578,285	0	0	0	0	0	578,285
82,083	0	0	0	0	0	82,083
1,945	0	0	0	0	0	1,945
494,257	0	0	0	0	0	494,257
578,285	0	0	0	0	0	578,285
△ 568,286	0	0	0	0	0	△ 568,286
24,777,693	△ 10,760,145	67,106	△ 10,693,039	△ 1,973,663	0	12,110,991
288,613,766	18,586,260	352,010	18,938,270	82,943,066	0	390,495,102
313,391,459	7,826,115	419,116	8,245,231	80,969,403	0	402,606,093
0			0			
15,898,123	0	0	0	0	0	15,898,123
15,898,123	0	0	0	0	0	15,898,123
15,898,123	0	0	0	0	0	15,898,123
△ 11,880,366	△ 309,880	0	△ 309,880	△ 2,848,516	0	△ 15,038,762
△ 11,880,366	△ 309,880	0	△ 309,880	△ 2,848,516	0	△ 15,038,762
△ 109,328	0	0	0	0	0	△ 109,328
△ 1,916,892	0	0	0	0	0	△ 1,916,892
△ 337,500	0	0	0	0	0	△ 337,500
△ 9,516,646	△ 309,880	0	△ 309,880	△ 2,848,516	0	△ 12,675,042
4,017,757	△ 309,880	0	△ 309,880	△ 2,848,516	0	859,361
258,893,029	4,964,457	0	4,964,457	45,634,809	0	309,492,295
262,910,786	4,654,577	0	4,654,577	42,786,293	0	310,351,656
576,302,245	12,480,692	419,116	12,899,808	123,755,696	0	712,957,749

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券及び投資有価証券・・・・・・移動平均法による原価基準によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のものは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理をしている。

リース契約1件あたりのリース料総額が300万円を超えるものは、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理をしている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込処理によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
施設整備積立金	8,000,000	2,950,000		10,950,000
看護センター準備積立金	93,258,390	16,020,816		109,279,206
土地	80,683,591			80,683,591
建物	195,374,291	120,264	4,629,634	190,864,921
建物付属設備	56,067,731		8,764,889	47,302,842
構築物	8,127,546		1,815,153	6,312,393
車両運搬具	4,369,460		1,716,340	2,653,120
什器備品	7,158,163		1,606,925	5,551,238
保証金	47,410			47,410
合 計	453,086,582	19,091,080	18,532,941	453,644,721

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
施設整備積立金	10,950,000	0	10,950,000	0
看護センター準備積立金	109,279,206	93,157,498	16,121,708	0
土地	80,683,591	0	80,683,591	0
建物	190,864,921	165,065,976	25,798,945	0
建物付属設備	47,302,842	41,437,150	5,865,692	0
構築物	6,312,393	4,463,496	1,848,897	0
車両運搬具	2,653,120	2,653,120	0	0
什器備品	5,551,238	3,564,506	1,986,732	0
保証金	47,410	9,910	37,500	0
合 計	453,644,721	310,351,656	143,293,065	0

6. 担保に供している資産

土地43,360,885円(帳簿価格)並びに建物40,613,390円(帳簿価格)は長期借入金28,239,000円の担保に供している。

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	317,218,769	126,353,848	190,864,921
建物付属設備	144,546,956	95,374,632	49,172,324
構築物	23,245,394	16,049,676	7,195,718
車両運搬具	24,999,428	20,375,448	4,623,980
什器備品	59,061,832	47,265,224	11,796,608
リース資産	4,173,120	2,384,640	1,788,480
合 計	573,245,499	307,803,468	265,442,031

8. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
H28年度佐賀県訪問看護ステーション規模拡大支援事業補助金	佐賀県	943,314	0	409,020	534,294	指定正味財産
H29年度佐賀県医療的ケア児等在宅支援事業補助金	佐賀県	0	42,000	42,000	0	—
H29年度教育事業(研修)助成金	日本看護協会	0	7,896,550	7,896,550	0	—
H29年度看護の普及啓発事業補助金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	—
H27年度佐賀県訪問看護ステーション規模拡大支援事業補助金	佐賀県	1,134,375		709,995	424,380	指定正味財産
H27年度サポートセンター事業補助金	佐賀県	66,150		15,120	51,030	指定正味財産
H26年度サポートセンター事業補助金	佐賀県	45,833		26,190	19,643	指定正味財産
H26年度中小企業労働環境向上助成金	佐賀労働局	426,930		115,052	311,878	指定正味財産
H26年度福祉車両助成金	日本財団	375,000		300,616	74,384	指定正味財産
H25年度介護福祉機器等助成金	佐賀労働局	802,380		121,227	681,153	指定正味財産
H25年度福祉車両助成金	日本財団	75,000		75,000	0	指定正味財産
H24年度介護基盤緊急特別対策事業補助金	佐賀県中部広域連合	15,721,374		591,499	15,129,875	指定正味財産
H24年度施設開設準備促進事業補助金	佐賀県中部広域連合	1,453,281		0	1,453,281	指定正味財産
H24年度地域介護・福祉空間整備補助金	佐賀県中部広域連合	369,443		0	369,443	指定正味財産
H24年度福祉車両助成金	日本財団	1		1	0	指定正味財産
合計		21,413,081	8,038,550	10,402,270	19,049,361	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	15,038,762
合計	15,038,762

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

資金調達及び設備投資の実績を記載した書類

平成30年3月31日現在

1 資金調達の実績について

該当なし。

2 設備投資の実績について

(単位：円)

設備投資の実績			
事業	設備投資の内容	金額	資金調達方法または取得資金の使途
公 1	パソコン1台	148,500	県委託金
〃	電話機1台	124,200	〃
〃	電動アシスト自転車1台	110,760	自己資金
〃	パソコン3台	418,932	〃
〃	パソコン1台	154,764	〃
〃	パソコン1式	193,644	〃
〃	車両 (スズキアルト1台)	880,000	〃

監 査 報 告 書

平成30年 5 月16日

公益社団法人 佐賀県看護協会
会 長 内 田 素 子 様

公益社団法人 佐賀県看護協会

監事 山田 美智子 

公益社団法人 佐賀県看護協会

監事 田村 浩司 

私たち監事は、公益社団法人佐賀県看護協会の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告について監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第四号議案

平成31年度 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者（案）

(平成30年通常総会後 平成31年通常総会まで)

代 議 員 6名

職 能	氏 名	勤 務 先	備 考
保 健 師	大 坪 玲 子	鳥栖保健福祉事務所	職 能 理 事
助 産 師	大 島 玲 子	国立病院機構佐賀病院	職 能 理 事
看 護 師	松 岡 周 子	個人	職 能 理 事
看 護 師	片 桐 都 茂子	訪問看護ステーション陽だまり	職 能 理 事
看 護 師	小 池 恭 栄	佐賀県看護協会	常 務 理 事
准看護師	小 川 由美子	佐賀記念病院	准看護師理事

予備代議員 6名

職 能	氏 名	勤 務 先	備 考
保 健 師	馬 場 弘 子	佐賀県看護協会	常 務 理 事
助 産 師	南 里 美 貴	佐賀大学医学部附属病院	助産師職能
看 護 師	重 富 祐 子	国立病院機構佐賀病院	中部地区理事
看 護 師	梶 原 由紀子	伊万里有田共立病院	北部地区理事
看 護 師	樋 渡 泉	佐賀県看護協会	副 会 長
准看護師	福 田 未 央	新武雄病院	職 能 委 員

第五号議案

平成30年度 改選役員及び推薦委員等の選出について

平成30年度 役員等改選候補者一覧

副会長候補

樋渡 泉 (66歳) 佐賀県看護協会



副会長として、1期務めさせていただきました。看護職能団体として、事業の推進と共に、看護の立場からの発信力の大切さを痛感しています。会員の皆様のご協力に感謝し、微力ですが、頑張りたいと思います。

地区理事候補

重富 祐子 (58歳) 独立行政法人国立病院機構 佐賀病院



昨年4月に佐賀病院に長崎医療センターより転勤して参りました。現在、外科、泌尿器科、皮膚科の病棟師長として勤務しております。退職まであと2年となり佐賀県の看護に貢献できればと思います。

常務理事候補

小池 恭栄 (62歳) 個人



40年間、病院と看護教育に携わり、看護管理と看護教育の重要性を痛感しました。看護管理の大部分は、教育に尽きるなど感じています。今後、どれくらい看護協会員の皆様のお力になれるかわかりませんが、誠実に仕事に取り組み、実行していきたいと思っています。

梶原由紀子 (58歳) 伊万里有田共立病院



副看護部長として勤務しています。看護の質向上、看護職の働きやすい環境づくりを目指して日々奮闘しています。現場の声を大切にし、協会と連携をとり北部地区での協会事業を推進していきたいと思っています。

職能理事候補

大島 玲子 (56歳) 独立行政法人国立病院機構 佐賀病院



佐賀病院総合週産期母子医療センターのレディース病棟師長として、8年目になりました。

昨今、助産師を取り巻く環境・課題は多くあります。前年度の活動を引継ぎ、微力ではございますが活動に精進したいと思います。

准看護理事候補

小川由美子 (57歳) 医療社団法人敬愛会 佐賀記念病院



臨床は15年ほどブランクがあり平成21年より当院勤務しています。入職当初は新人に等しく戸惑う事ばかりでスタッフに迷惑をかけてばかりで何度かくじけそうになり何度か退職も考えましたが病棟スタッフの協力もあり続ける事ができました。現在リハビリ病棟にて皆と協力しながら患者様の自立という目標に向け日々勤務しています。

片桐都茂子 (59歳) NPO法人訪問看護ステーション 陽だまり



慶応義塾大学医学部附属厚生学院を卒業し、結婚を機に、佐賀に住み、佐賀大学医学部看護学科修士課程を卒業しました。平成16年、現在のステーションを立ち上げ、管理者及び訪問看護師として働いています。

監事候補

山根 恵子 (65歳) 個人



唐津赤十字病院を退職し4年が経過しました。

平成27年から2年間、当協会「70周年記念事業検討会」の委員として活動し、看護協会の役割について再確認する機会となりました。

看護協会事業推進のために尽力いたします。

地区理事候補

岩崎 藤子 (46歳) 国立病院機構嬉野医療センター



地域医療連携室の看護師長をしています。看護協会の役員は初めてですが連携室での地域とのつながりを活かして活動できればと思います。よろしくお願ひ致します。

山下美智子 (59歳) 医療法人修賢会 藤崎病院



北部地区支部長を終え17年間の総師長業務も今年度定年とホッとした矢先に、監事候補として推薦されました。

協会には困っている時に助けていただいていますので、微力ながら恩返しができると思っています。

田村 浩司 (52歳) 田村公認会計事務所 (会員外)

推薦委員候補

大坪 利恵 (54歳) 医療法人社団如水会 今村病院



現在、循環器・呼吸器・脳神経外科の急性期病棟師長をしています。人も仕事も好きで、元気と明るさだけが取り柄の私ですが、今後も自己研鑽に努め地域社会へ貢献していきたいと思っております。

野田 ルミ (42歳) 医療法人剛友会 諸隈病院



感じとる心を持ち、患者様とお話をすることを心がけています。
今年度より外来主任となり、スタッフが楽しく業務に専念できる環境づくりを目指し質の高い看護を提供していきたいと思っております。

岩野恵里子 (37歳) 医療法人至誠会 なゆたの森病院



50床の障害者施設等一般病棟で、主に透析患者様の看護をさせていただいています。看護職が安心して働き続けられる環境が整えられるために、活躍できる人材の推薦に微力ながら努力して参ります。

樋口 昌宏 (44歳) 独立行政法人国立病院機構 東佐賀病院



東佐賀病院で副看護師長として勤務しています。病棟は重症心身障害児(者)病棟です。患者様のほとんどは、重度の知的障害と身体障害を併せもつ患者様で、深く長く関わっていく看護にやりがいを感じています。

推薦委員候補

上滝 公彦 (31歳) 社会医療法人祐愛会 織田病院



外科病棟を経て、現在は内科病棟に勤務をしています。医療安全の観点から、患者さんの安全を第一に考えた看護を行うように心がけ、スタッフの教育に携わっています。若輩者ではありますがよろしくお願ひします。

松本 恭子 (47歳) 医療法人修賢会 藤崎病院



唐津市の藤崎病院で外来師長として勤務しております。
泌尿器科、皮膚科、内科、人工透析の専門病院として地域住民の皆様の信頼に応えられるよう日々取り組んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

松尾 悦子 (56歳) 佐賀県唐津保健福祉事務所



佐賀県に保健師で入職し、気が付けば、三十数年となっていました。(看護協会会員歴も同じです。)昨年度から15年ぶりに唐津勤務となり、母子保健福祉担当として頑張っております。

報告事項 1

平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業報告は、定款第4条の8つの事業に沿って掲載

1. 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

看護職に対する看護教育を実施・充実することを通して、看護職の専門職としての能力の維持・向上及び人間性のある看護職の育成を図る。

事業項目	内 容	
(1) 看護教育及び看護の質の向上に関する事業	ア 継続教育の企画、実施	
	ア 平成29年度教育計画の実施、評価	
	・一般研修39コース受講者2379名（会員2064名 非会員 315名）	
	イ 平成30年度教育事業説明会 3/9 参加者70名	
	イ 認定看護管理者教育研修 認定看護管理者教育課程	
	ア 「ファーストレベル」5/26～12/15修了者53名（前年度受講者2名含む）	
	イ 看護管理実践計画発表会 2/24 15名	
	ウ 佐賀县委託研修	
	ア 新人看護職員等研修会	
	・新人看護師多施設合同研修会	
	H29/4/6～H30/2/16のうち8日間	受講者53名
	・新人看護職員教育担当者研修会 10/20～11/2 5日間	受講者52名
	イ 実習指導者講習会 特定分野（e-ラーニング含）	
	5/23～6/11のうち8日間	受講者17名
	ウ 保健師助産師看護師実習指導者講習会	7/10～9/5 受講者46名
	エ 実習指導者講習会講師会議	10/17
	オ 訪問看護師養成講習会（e-ラーニング含む）	6/5～12/12 受講者23名
	カ 看護職員認知症対応力向上研修	8/27.9/8 受講者50名
	キ がん看護研修会	9/26～11/15（5日間） 受講者52名
	エ インターネット配信研修（オンデマンド）	
	ア 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	6/13.6/14 受講者59名
	イ 災害支援ナースの一步	7/19.7/20 受講者36名
	オ その他研修	
ア 重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	6/18 受講者92名	
イ 重症度、医療・看護必要度ステップアップ研修	11/5 受講者94名	
ウ ステップアップ！急性期病院での認知症ケア（全国看護セミナー）	2/17.2/18 受講者 37名	
エ 医療介護連携推進のための多職種研修会	2/24 受講者118名	
オ 診療報酬・介護報酬改定説明会	3/28 受講者158名	

2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

看護研究に取り組む意欲のある者に対する支援や看護職に関する学術研修を振興させるため、看護研究に関する学会の開催等を行う。

事業項目	内 容
(1) 学会等学術の振興に関する事業	<p>ア 第36回佐賀県看護研究学会（佐賀市文化会館） 3/9 参加者499名 学会発表演題選考・支援 看護研究学会 16題採択（口演8題、示説8題） 特別講演 看護の将来ビジョンと看護職への期待 ～地域包括ケア時代を見据えて～ 講師 東京保健医療大学副学長 坂本 すが 氏</p> <p>イ 看護研究推進・相談・支援 ア 教育プログラムによる研修会 ・看護研究Ⅰ 4/27 受講者44名</p> <p>ウ 第49回（平成30年度）日本看護学会－在宅看護－学術集会準備 ア 第48回日本看護学会在宅看護学術集会視察 9/13～9/15 イ 日本看護学会学術集会準備委員会 6回 ウ 日本看護学会学術集会選考委員会 1回</p> <p>エ 日本看護協会との連携 ア 日本看護学会運営会議 12/18 イ 日本看護学会学術集会 佐賀県看護協会と共催</p>
(2) 図書室運営に関する事業	<p>ア 図書室の充実 平成29年度 利用者 218名 貸出数 221冊 PC利用者 65名</p>

3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業（公益目的事業）

看護業務及び看護制度に関して職能集会等を通じて看護業務の改善、看護制度の改善・普及啓発等を図り看護の質を向上させる。

事業項目	内 容
(1) 看護業務の改善に関する事業	<p>ア 職能委員会活動</p> <p>保健師職能委員会 6回 助産師職能委員会 9回 看護師職能Ⅰ委員会 8回 看護師職能Ⅱ委員会 8回 合同職能・常任委員会 7/11 各職能委員長 日本看護協会通常総会、全国職能別交流集会 6/7～6/8 全国職能委員長会（日看協） 2回 地区別各職能委員長会（開催地：大分県10/26）</p> <p>保健師職能集会 11/25 参加者53名 助産師職能集会 12/3 参加者29名 看護職能委員会Ⅰ集会 12/9 参加者58名 看護職能委員会Ⅱ集会 10/22 参加者32名</p>

事業項目	内 容
	<p>保健指導ミーティング研修会 12/16 参加者61名</p> <p>准看護師交流会 11/30 参加者35名</p> <p>新任期保健師フォローアップ研修 1/25 参加者26名</p> <p>保健師中堅期コンサルテーション (4回) ①7/21 参加者17名</p> <p>②8/22 参加者4名 ③10/20 参加者4名 ④2/3 参加者26名</p> <p>看護師職能 I・II の交流会 2/17 参加者36名</p>
(2) 看護制度の改善に関する事業	<p>ア チーム医療における看護職の役割拡大 特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報提供</p> <p>イ 看護師教育制度に関する情報提供</p> <p>ウ 准看護師制度の課題解決に向けた取り組み ・安全な看護提供に向けた業務範囲に関する課題について情報提供 ・准看護師交流会 11/30 参加者 34名</p> <p>エ 認定看護管理者制度の再構築に関する日看協の考え方情報提供</p> <p>オ 看護師のクリニカルラダー (日本看護協会版) 活用の推進</p> <p>カ 看護制度委員会</p> <p>キ 日本看護協会との連携 ・都道府県准看護師制度担当役員会議</p>
(3) 医療看護の安全対策に関する事業	<p>ア 医療安全管理体制の推進</p> <p>ア 医療安全管理者養成研修 (e-ラーニング) 受講者52名</p> <p>イ 医療安全研修会「いまだから知っておくべき、考えておくべき医療安全」 7/7 受講者73名</p> <p>ウ 医療安全管理者交流会 10/30 受講者45名</p> <p>イ 医療看護安全啓発</p> <p>ア 医療安全情報提供 (HP掲載)</p> <p>ウ 看護職賠償責任保険の情報提供</p> <p>エ 医療看護安全推進委員会</p> <p>オ 日本看護協会との連携</p> <p>ア 都道府県医療安全推進会議 9/28</p>

4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業 (公益目的事業)

訪問看護・居宅介護支援事業での健康相談・啓発等を行うことにより、「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 訪問看護ステーション事業	<p>訪問看護ステーション事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 2205名 ・訪問回数 17210名 ・新規利用者 178名 ・終了者 (在宅死) 157名 (55名)
(2) 訪問看護サポートセンター運営事業	<p>ア 人材育成・人材確保事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 7回 参加者延べ 268名 ・管理者研修会 2回 参加者延べ 117名

事業項目	内 容
	イ 新卒等訪問看護師の育成支援 ア 佐賀県版新卒者等育成プログラム検討委員会 4回 新卒等訪問看護師育成支援プログラム作成 ウ 相談対策事業 サポートセンター相談件数 TEL相談 178件、来訪相談 20件、出張相談 6件 エ 普及啓発活動 看護協会ホームページ更新 オ その他の事業 ・ 関連会議 ア 佐賀県訪問看護ステーション管理者会 イ 公益財団法人日本訪問看護財団 訪問看護サミット2017 ウ 長崎県看護協会 訪問看護管理者研修会 エ 平成29年度在宅医療関連講師人材養成事業（訪問看護分野） オ 平成29年度第2回訪問看護連絡協議会全国会議
(3) 居宅介護支援事業	ア 居宅介護支援事業推進 ・ サービス計画作成件数 790件
(4) 療養通所介護事業	ア 療養通所介護事業推進 ・ 通所利用人数 111名 ・ 通所回数 544 回
(5) 地域密着型サービス事業 (複合型サービス事業)	ア 複合型サービス事業推進 ・ ケアステーション野の花登録人数 278名
(6) その他事業	ア 平成29年度実習受け入れ 12施設 63名 延べ日数 212名 イ 公益社団法人日本看護協会「協会ニュース特集」取材 佐賀事業所ケアステーション野の花 8/15 ウ 視察（看護小規模多機能型居宅介護事業新規開設に向けて） 4施設 エ 関連機関との連携 ア 講師派遣 イ 各関係団体との連携、会議への出席 ウ 介護認定調査員研修会

5. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業（公益目的事業）

看護職が働き続けられる職場環境づくりを推進し、看護職の就業促進、離職防止・定着を図ることにより、医療事故の防止及び看護職員不足の解消を実現し、看護の質の維持・向上を通じて公衆衛生を向上させる事業を行う。

事業項目	内 容
(1) 働きやすい労働環境づくりの推進事業	ア 看護職の定着推進 ア ワーク・ライフ・バランス（WLB）推進事業 ・ 第4回看護サウルス賞 授賞式 5/18 ・ WLB推進委員会 5/26.8/25.9/5.12/12

事業項目	内 容
(2) 看護職の就業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・参加施設インデックス調査 6/1～6/22 ・WLB推進ワークショップ事前研修会 参加者35名 ・WLBワークショップ現状分析説明会 参加者25名 ・WLBワークショップ 参加者50名 ・WLBワークショップ施設訪問（ひらまつ病院、NHO嬉野医療センター） ・看護職のWLB推進フォローアップワークショップ 参加者27名 ・平成29年度都道府県労働担当者会議（日看協） ・勤務環境開発支援センターとの連携 <p>ア ナースセンター事業の推進</p> <p>ア 再就業相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者の相談・受付・無料職業紹介 佐賀県看護協会ナースセンター直接相談状況（来訪・電話） 求職 541名、求人 251名、進路 27名、その他 253名 合計 1052名 *その他は再就業支援研修会、ふれあい看護体験の相談を含む。 *ナースセンター相談者の就職斡旋 常勤看護 70名、非常勤看護師 33名（佐賀県内85名、佐賀県外18名） 臨時雇用（イベント等）59名 ・ハローワーク（6か所）における未就業者移動相談 129名 <p>イ 看護職復職支援事業</p> <p>平成29年度看護職再就業支援研修（講義4日間、実習2日間）2回 受講者14名（修了書授与者13名）</p> <p>ウ 看護職員の離職・需要調査</p> <p>975施設調査票発送 回収率55.5%</p> <p>エ 看護のこころ普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日・看護週間行事の実施 ・まちの保健室 8回実施 7－（3）詳細記載 ・ふれあい看護体験 7/20～8/23 参加高校 37校、参加者 273名 参加施設 37施設 ・出前講座（職業講和） ・看護夢ナビ事業 ・看護ふれあいフェスタ 9/23 参加者 108名 ・看護体験教室（夏休み 7/20～8/31） 参加者 54名 （冬休み 12/21～1/6） 参加者 8名 <p>オ 日看協との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NCCS維持管理運用（第5次NCCS） ・看護の日、看護週間行事実施 ・ナースセンター事業担当者会議・研修会 ・都道府県ナースセンター地区別意見交換会（長崎県にて開催） ・職業安定法改正に関する説明会（日看協） <p>カ 行政、関係機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉マンパワー合同就職面接会 2回 <p>イ 看護職員の復職支援強化事業</p> <p>ア 離職者のナースセンター届出制の推進</p> <p>総届出数 228名、届出完了者 210名、ID登録のみ 18名 （ID登録のみの人には電話・メール・届出票郵送にて本登録勧誘）</p>

事業項目	内 容
	e ナースセンターへの登録移行者 49名 ・復職支援1日研修 4回 13名 ・施設訪問 佐賀県内200床以下の病院訪問86施設、看護学校12校 ・広報 届出表、ナースセンター案内資料を配置 佐賀中央郵便局、アバンセ、市役所19箇所

6. 災害による被災者の支援に関する事業（公益目的事業）

災害時の看護支援活動に備え、日本看護協会やそのネットワークと連携し、体制の整備と派遣活動を行う。一方佐賀県との連携を図り、その体制を構築し、災害看護支援活動を行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 災害時看護活動に関する事業	ア 災害支援ナースの育成 ア 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～（インターネット配信）（再掲） 参加者36名 イ 災害支援ナース登録者研修 参加者32名 イ 災害支援活動の推進事業 ア 災害支援ナース登録促進と体制づくり イ 災害支援ナース登録者 45名（平成30年3月31日現在） ウ 災害支援ナース派遣調整合同訓練 エ 災害看護委員会 オ 都道府県看護協会災害看護担当者会議

7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

地域での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 看護の普及活動事業	ア 看護の日、看護週間行事の実施（再掲） ア 県看護協会 STSかちかちワイドテレビ宣伝隊出演 5/12 「まちの保健室」（中部地区と共催） ・健康相談 ・乳がん触診体験 ・進路相談 5/13 相談者129名 ゆめタウン佐賀 イ 各地区支部（県内5地区6会場、地区医療機関等）別紙参照 ・健康相談、進路相談等（県内5地区6会場） 参加者538名＋多数 ・地区医療機関内におけるイベント（23施設）参加者数多数 ＊詳細は参考資料参照 イ 男女共同参画週間パネル展 掲示（6/19～6/30） ウ 訪問看護リーフレット原案作成（長寿社会課委託事業）
(2) 看護体験等による普及啓発活動	ア 看護体験を主とした普及活動（再掲） ・看護体験教室 夏休み 参加者中高校生合計54名（7月～8月） 冬休み 参加者中高校生合計 8名（12月～1月） ・看護ふれあいフェスタ 9/23 参加者108名 ・看護夢ナビ事業推進委員会

事業項目	内 容
(3) 地域住民の健康づくり事業	<p>ア 健康相談事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室（再掲） ・牛津アイル 血圧測定・乳がんモデル触診・健康相談 4/23 相談者65名、相談件数139件 ・各地区支部老人月間行事と共催 （血圧測定、乳がんモデル触診、健康相談、進路相談、体脂肪測定、ロコモ体操） 東部地区支部と共催 9/9 相談者59名 吉野ヶ里温泉卑弥呼の湯 中部地区支部と共催 9/16 相談者47名 イオンモール佐賀大和 南部地区支部と共催 9/16 相談者30名 イオンスーパーセンター佐賀店 西部支部地区と共催 9/19 相談者25名 鹿島市ひぜん祐徳温泉 北部支部地区と共催 9/23 相談者25名 唐津 鳴神温泉なのゆ ・道の駅巖木 血圧測定・健康相談 10/15 相談者16名、相談件数19件 ・牛津アイル 血圧測定・体脂肪測定・健康相談・乳がんモデル触診 10/29 相談者53名、相談件数71件 <p>イ 出前事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期教育出前事業 小学校7校、中学校7校、高校3校 <p>ウ 広報出版委員会</p> <p>エ 看護協会だより 3回/年 発行</p>

8. 施設の貸与事業（収益事業等）

事業項目	内 容
(1) 施設の貸与推進	<p>ア 平成29年度施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出し件数30件

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業/収益事業等/法人事業）

事業項目	内 容
(1) 組織強化	<p>ア 会員の拡大 会員数：5,576名（平成30年3月31日現在） 内訳（保健師187名、助産師106名、看護師4,921名、准看護師362名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・新卒者へのPR ・看護学校入学式 出席9校 祝電対応1校 ・看護学校戴帽式 出席8校 祝電対応1校 ・看護学校卒業式 出席9校 祝電対応1校 ・会員増への取り組み ・協会機関誌、教育計画冊子 送付 ・入会案内リーフレット配布（病院施設、看護学校等） ・会員委員会による看護学校10校へ訪問（協会PRと入会の働きかけ）
(2) 円滑な組織運営	<p>ア 総会の開催 通常総会 出席者595名、委任状3,865名 6月24日（土）佐賀市文化会館</p> <p>イ 理事会等会議の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会： 9回 ・常任理事会：8回 ・施設代表者会議 7/29 ・佐賀県看護協会創立70周年記念事業検討委員会

事業項目	内 容
	<p>ウ 日本看護協会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会通常総会代議員・予備代議員研修会 5/20 ・日本看護協会通常総会 出席 代議員：6名、予備代議員：6名 会場：千葉幕張メッセ 6/7 全国職能別交流集会 6/8（再掲） ・保健師 東京ベイ幕張ホール2階 ・助産師 東京ベイ幕張ホール2階 ・看護師交流集会Ⅰ（病院領域）幕張メッセ 幕張イベントホール ・看護師交流集会Ⅱ（介護・福祉関係・在宅等領域）東京ベイ幕張ホール2階 参加者：保健師2名 助産師2名 看護師6名 准看護師2名 ・日本看護協会理事会（会長 地区理事） 6回 ・中央法人会員会 5回 ・全国職能委員長会 2回 ・看護サミット ・地区別法人会員会（開催県：大分県）（再掲） 10/26 ・都道府県看護協会支部役員等研修会 11/27 ・日本看護協会創立70周年記念行事 11/20 ・都道府県看護協会事務担当者地区別勉強会（熊本県） 12/12 ・諸関連会議への出席 <p>エ 佐賀県看護協会創立70周年記念式典 10/21 出席者87名</p>
(3) 協会活動に関する広報推進	<p>ア 機関誌発行（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護協会だより3回／年 発行 ・ホームページの充実
(4) 地域社会への広報活動	<p>実施内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> 7-(1) 看護の普及活動事業 7-(2) 看護体験等による普及啓発活動 7-(3) 地域住民の健康づくり事業の欄参照
(5) 行政機関・関連団体との連携	<p>ア 行政、関連機関、他団体委員会への参画</p> <p>イ 看護連盟、四師会との情報交換</p> <p>ウ 関係団体の後援、推薦・協賛等依頼への協力 後援30団体 障がい者スポーツ大会、障がい者スポーツフェスタ看護師派遣 さが桜マラソン救護看護師派遣</p>
(6) 会員の福利厚生	<p>ア 佐賀県看護協会会長表彰 25年以上表彰 17名</p> <p>イ 各種表彰候補者推薦等</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 看護事業功労者知事表彰 6名（再掲） イ 優良看護職員厚生労働大臣表彰 1名 <p>ウ 会員の慶弔等</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚式祝電 39件 弔慰金 4件（弔電2件） <p>エ ア レジャー施設入場支援 505名 イ 保養施設の優待、佐賀県マッサージ協会優待</p>

報告事項 2

平成30年度 事業計画（案）

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業等を公益社団法人日本看護協会と連携し、以下のとおり行う。

事業計画は、定款第4条の9つの事業に沿って掲載

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業
4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業
5. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業
6. 災害による被災者の支援に関する事業
7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業
8. 施設の貸与事業
9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- 【重点事業】
1. 看護の連携強化による地域包括ケアの推進
 2. 看護職が働き続けられる職場環境づくりの推進
 3. 看護の質の向上のための継続教育の充実
 4. 会員拡大による組織強化

・下線は新規事業

1. 教育等看護の質の向上に関する事業（重・3）

看護職に対する看護教育を実施・充実することを通して、看護職の専門職としての能力の維持・向上及び人間性のある看護職の育成を図る。（公益目的事業）

事業項目	内 容
1. 看護教育に関する事業	<p>ア 継続教育の企画、実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の実施・評価 ・一般研修 40コース ・平成31月年度教育計画の企画・教育計画冊子の作成・広報 <p>イ 認定看護管理者教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理者教育課程「ファーストレベル」150時間 企画・実施・評価 「セカンドレベル」180時間 企画・実施・評価 <p>ウ 県委託研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員等研修会 ・新人看護職員多施設合同研修会 ・新人看護職員教育担当者研修 ・保健師助産師看護師実習指導者養成講習会 ・訪問看護師養成講習会（e-ラーニング含む） ・がん看護研修会 ・病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修事業 ・再就業支援研修会 2回／年 <p>エ インターネット配信研修 オンデマンド 3コース</p> <p>認知症高齢者の看護実践に必要な知識 多死社会に求められる看取りの看護 災害支援ナースの第一歩</p> <p>オ その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護必要度評価者院内指導者研修 ・地区支部における研修会 ・関係機関との共催研修会の開催 ・その他

事業項目	内容
	カ 委員会 ・教育委員会 ・認定看護管理者教育委員会 5回/年 キ 日本看護協会との連携 ・都道府県看護協会教育担当者会議 ・都道府県看護協会教育担当者研修 ク 平成31年度教育事業説明会

2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業

看護研究に取り組む意欲のある者に対する支援や看護職に関する学術研修を振興させるため、看護研究に関する学会の開催等を行う。(公益目的事業)

事業項目	内容
1. 学会等学術研究の振興に関する事業	ア 第36回佐賀県看護研究学会開催企画・運営 平成31年3月10日(日) ・発表演題の選考・支援 ・学会抄録の発行 イ 看護研究推進・相談・支援 ・教育プログラムによる研修会 ウ <u>第49回(平成30年度)日本看護学会—在宅看護—学術集会開催</u> 平成30年7月27日・28日 佐賀市文化会館 ・学術集会準備委員会 ・抄録選考員会 エ 日本看護協会との連絡 ・日本看護学会運営会議
2. 図書室運営に関する事業	ア 図書室の充実 ・図書の閲覧・貸出 ・図書、教材等の整備 ・文献情報の提供 ・文献活用の支援 ・図書貸出業務 イ 日本看護協会との連絡 ・都道府県看護協会図書室担当者会議

3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業

看護業務及び看護制度に関して職能集会等を通じて看護業務の改善、看護制度の改善・普及啓発等を図り看護の質を向上させる。(公益目的事業)

事業項目	内容
1. 看護業務の改善に関する事業	ア 職能委員会活動 ・保健師職能委員会 ・保健師職能集会 ・保健指導ミーティング ・中堅期保健師研修 ・保健師職能委員会 ・全国保健師職能委員長会 ・助産師職能委員会 ・助産師職能集会 ・助産師職能委員会

事業項目	内容
<p>2. 看護制度の改善に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国助産師職能委員長会 ・看護師職能委員会 I <ul style="list-style-type: none"> ・看護師職能委員会 I 集会 ・看護師職能 I 委員会 ・全国看護師職能委員会 I 委員長会 ・看護師職能委員会 II <ul style="list-style-type: none"> ・介護・福祉関係施設・在宅等領域交流会 ・看護師職能委員会 II 集会 ・看護師職能 II 委員会 ・全国看護師職能委員会 II 委員長会 イ 地方公共団体への政策提言 ア 特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報の提供と啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会と連携した情報の発信 ・広報活動の推進 イ 看護大学（4年制）推進支援 ウ 准看護師への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師養成2年課程（通信制）に関する情報提供 ・日本看護協会奨学金制度の紹介 ・准看護師研修会・交流会開催（会員・非会員） ・准看護師からの相談対応 ・安全な看護提供をするための業務範囲に関する情報提供と意見集約 ・機関誌（さが看護協会だより）にて情報提供（会員・非会員） エ 看護師教育制度に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・看護職を目指す中・高校生、社会人への対応 ・中・高校の進学指導教師への看護進学に関する情報の提供 ・県民への啓発 オ 看護制度委員会 カ 日本看護協会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県准看護師制度担当役員会議
<p>3. 医療・看護の安全対策に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ア 医療安全管理体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全研修会 ・医療安全管理者交流会 ・医療安全相談対応（HP掲載） ・佐賀県医療事故調査等支援団体連絡協議会との連携 ・佐賀県医療安全協議会との連携 イ 医療看護安全啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全情報提供（HP掲載等） ・医療安全推進週間啓発用ポスター掲示 ウ 看護職賠償責任保険の情報提供 エ 医療看護安全推進委員会 オ 日本看護協会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県医療安全推進会議

4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業（重1）

訪問看護・居宅介護支援事業での健康相談・啓発等を行うことにより、「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。 （公益目的事業）

事業項目	内 容
1. 訪問看護ステーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護師の質の向上及び職員体制の強化 ・介護者・家族へのサポート強化 ・在宅サービス提供者との連携強化 ・実習生の受け入れ、教育研修への積極的な協力 ・各種訪問看護関連研修会・学会への参加
2. 訪問看護サポートセンター運営事業（委託）	<p>ア 人材育成・人材確保事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護の質の向上のための研修 ・新卒等訪問看護師の育成支援 ・訪問看護ステーション管理者研修 ・医療機関からの交流派遣研修 ・看護職、看護学生等研修生受入 <p>イ 小規模事業所支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、勉強会への講師派遣 ・新任看護師の実施研修受入支援 ・医療機関と訪問看護事業所との交流 <p>ウ 相談対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護事業所等からの訪問看護等に関する相談対応 <p>エ 普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報 <p>オ その他の事業</p>
3. 居宅介護支援事業	<p>ア 居宅介護支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者確保 ・介護支援サービスの調整 ・地域における関係機関との連携強化
4. 療養通所介護事業	<p>ア 療養通所介護の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中重症度・医療依存度の高い在宅療養者（児）及び家族への支援
5. 地域密着型サービス事業（複合型サービス事業）	<p>ア 複合型サービスの普及・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態に応じた柔軟なサービス提供 ・複合型サービスの普及・促進
6. その他事業	<p>ア 訪問看護に関わる関連団体との連携・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会との連携 ・全国訪問看護担当者会議 ・訪問看護振興財団との連携 ・訪問看護サミット ・佐賀県訪問看護推進連絡協議会との連携 <p>イ ステーションの広報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションHP更新 ・地域住民へのステーションイベント招待 訪問看護PR <p>ウ 訪問看護ステーション運営会議 4回／年</p>

5. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業（重・2）

看護職が働き続けられる職場環境づくりを推進し、看護職の就業促進、離職防止・定着を図ることにより、医療事故の防止及び看護職員不足の解消を実現し、看護の質の維持・向上を通じて公衆衛生を向上させる事業を行う。
 （公益目的事業）

事業項目	内 容
1. 働きやすい労働環境づくりの推進事業	ア 看護職の定着推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランス推進 平成31年度インデックス調査参加施設募集 ・WLB推進ワークショップ参加施設（3年目）への支援 ・WLB推進研修会 ・日本看護協会との連携 ・看護労働担当者会議への参加 ・行政・労働局・医師会との連携 ・勤務環境開発支援センターとの連携 ・「看護職のWLB事業」の広報活動 ・WLB推進委員会 ・社会経済福祉委員会
2. 看護職の就業支援事業	ア ナースセンター事業の推進（委託） <ul style="list-style-type: none"> ・ナースセンター事業 <ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介事業 <ul style="list-style-type: none"> ・NCCSによる求人・求職の登録・管理・支援・推進 ・看護の日・看護週間行事の実施 ・ナースセンター事業の広報活動の強化 (非会員医療施設への機関紙配布：3回/年、県内病院訪問等) ・看護職復職支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・潜在看護職員の再就業支援研修会の実施（2回） ・求人求職合同面談会 ・移動就業相談 <ul style="list-style-type: none"> ・県内6か所のハローワークにおける移動就業相談 ・看護職員の離職・需要調査・離職調査 <ul style="list-style-type: none"> ・期日：7月 ・対象：県内の病院・診療所・老人保健施設等（約900施設） ・看護のこころ普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・「看護の日・週間」行事の実施 ・看護夢ナビ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい看護体験企画・実施 ・高校生の一日本看護体験 ・看護ふれあいフェスタ 9/29 ・看護体験教室（夏休み期間） ・看護職志望者への広報 ・中学生・高校生への進路相談、PR ・出前講座（中学・高校への職業講話） ・中学・高校進路指導教師への看護進学に関する情報の提供 ・ナースセンター事業担当者会議・研修会出席 ・ナースセンター相談員連絡会 ・行政・関係機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務環境開発支援センターとの連携 イ 看護職員の復職支援強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師等の届出サイト「とどけるん」の周知、登録推進 ・施設訪問説明（11月～12月）

事業項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、研修会等での周知 ・会報などへの掲載（看護協会会報、県民便り、新聞掲載等） ・チラシやポスター、届出推進カードの配布 ・届出登録者に対する復職支援 <ul style="list-style-type: none"> ・復職支援1日研修 ・その他

6. 災害による被災者の支援に関する事業

災害時の看護支援活動に備え、日本看護協会やそのネットワークと連携し、体制の整備と派遣活動を行う。また佐賀県との連携を図り、その体制を構築し、災害看護支援活動を行う事業である。（公益目的事業）

事業項目	内容
1. 災害時看護活動に関する事業	<p>ア 災害支援ナースの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナース基礎編（インターネット配信研修） ・災害支援ナース実務編研修 ・災害支援ナース登録者研修 <p>イ 災害支援活動の推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナース登録促進と体制づくり ・災害支援ナース登録 ・日本看護協会災害支援ナース派遣訓練 ・災害看護支援要綱及びマニュアル改訂 ・災害時「災害支援ナース」の調整・派遣 ・災害看護委員会 ・佐賀県防災会議、災害訓練等への参画 ・都道府県看護協会災害看護担当者会議

7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業（重・4）

地域での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。（公益目的事業）

事業項目	内容
1. 看護の普及活動事業	<p>ア 看護の日、看護週間行事の実施（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県看護協会（ゆめタウン佐賀他） <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日、看護週間の周知、健康相談、助言 ・ポスター、チラシ等の配布、活用 ・地区支部（県内5地区、地域内医療機関等） <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日、看護週間の周知、健康相談、助言、イベント等実施 ・ポスター、チラシ等の配布、活用
2. 看護体験等による普及啓発活動	<p>ア 看護体験を主とした普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護夢ナビ事業（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・看護ふれあいフェスタ 9/29 ・看護体験教室（夏休み期間） ・看護夢ナビ事業推進委員会 ・ふれあい看護体験の企画、実施 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の一日看護体験 <p>イ 看護師になるための進路相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生への進路相談、PR ・出前講座（中学・高校への職業講話） ・中学・高校進路指導教師への看護進学に関する情報の提供

事業項目	内 容
3. 地域住民の健康づくり事業	<p>ア 健康相談事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室活動 場所：ゆめタウン佐賀 他 ・健康相談 ・生活習慣病予防に関する啓蒙活動 ・がん看護・緩和ケアに関する相談 ・各イベントでの健康相談 <p>イ 出前事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期教育出前講座（小学校、中学校、高校、PTA等） ・性感染症の知識と予防普及 <p>ウ 健康に関する研修開催</p> <p>エ 地域行政等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に関する保健医療関連行事等への参加協力

8. 施設の貸与事業（収益事業等）

事業項目	内 容
1. 施設の貸与推進	<p>1) 施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連団体への貸出し、研修室、会議室等の貸出し

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／収益事業等／法人事業）

事業項目	内 容
1. 組織強化	<p>ア 会員の増加拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の登録管理 ・加入者・未加入施設及び福祉介護施設に本会機関誌、教育計画冊子を送付 ・学生と新卒者へのPR <ul style="list-style-type: none"> ・看護学校及び看護管理者への呼びかけ ・退職会員への加入継続の働きかけ ・入学式、卒業式、戴帽式等への出席 ・会員委員会活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・看護学校訪問 ・地区支部との連携及び支援 <ul style="list-style-type: none"> ・各支部との情報交換による連携強化 ・地区支部活動への支援 ・日本看護協会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・会員管理システムの運用
2. 円滑な組織運営	<p>ア 通常総会の開催 平成30年6月23日（土） 佐賀市文化会館</p> <p>イ 組織運営に関する会議の開催・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会開催 : 年8回以上 ・常任理事会 : 年8回以上 ・平成29年度事業会計監査 5/16 ・合同職能委員・常任委員会 年1回/年 ・地区支部長会 : 年1回以上 ・各職能委員会 ・各常任委員会 ・各特別委員会 <p>ウ 日本看護協会との連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会通常総会代議員・予備代議員研修会 5/19

事業項目	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会通常総会出席(代議員6名・予備代議員6名) 平成30年6月12日(横浜市) ・全国職能別交流集会 平成30年6月13日(横浜市) ・日本看護協会理事会 6回以上 ・法人委員会 6回程度 ・地区別法人委員会及び職能委員長会 11/1、2 開催地 鹿児島県 ・都道府県看護協会各担当者会議出席 エ 選挙管理委員会 オ 推薦委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・改正役員等及び推薦候補者の推薦 ・日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の推薦 カ 運営体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・業務分掌の検討 ・諸規程の整備 キ 会員登録事務 <ul style="list-style-type: none"> ・新規・継続会員の受付、JANSの運用・管理 ・会員名簿管理担当者会議出席 ク <u>佐賀県看護協会70周年記念誌発刊</u> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県看護協会70周年記念行事委員会
3. 協会活動に関する広報推進	<ul style="list-style-type: none"> ア 機関誌「さが看護協会だより」発行 年3回 イ 広報委員会 ウ ホームページ更新によるタイムリーな情報提供
4. 地域社会への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ア 協会事業のPR <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日、看護週間事業、他イベント等のマスコミへの情報提供と広報 ・ポスター・チラシの配布、活用
5. 行政機関・関連団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ア 行政、関連団体との連携・協力 イ 関係事業の受託実施 ウ 看護連盟、四師会との情報交換 エ 関係団体の後援、推薦・協賛等依頼への協力
6. 会員の福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> ア 会員の表彰(佐賀県看護協会会長表彰) イ 各種表彰候補者推薦(日本看護協会会長表彰、県知事表彰他) ウ 弔慰金、災害見舞 エ 結婚式祝電 オ レジャー施設入場支援

報告事項3

平成30年度 予 算 書

平成30年度 収 支 予 算

本会の予算は、20年会計基準に基づき、大きく3つの会計区分となっている。すなわち、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つである。

「公益目的事業会計」は、5つの事業に区分され、その内訳は定款で定める9つの事業と、それらに共通する「公益目的事業共通」の事業である。また、「収益事業等会計」は施設の貸与事業、会員福利厚生事業等である。

平成30年度予算は、平成29年度に引き続き重点事業の強化や継続事業の充実などに資金を活用するものとなっている。

また、平成30年度「収支予算書」は、公益社団法人の要件として求められている次の財務三基準を十分に満たす構成となっている。

(1) 収支相償、これは、公益目的事業に係る収支が費用をこえないこと。すなわち、事業実施に要する費用を上回る収入を上げてはいけない。

公益目的事業の経常収益349,816,000円が公益目的事業の経常費用360,708,000円を超えていない。

(2) 公益目的事業比率が、収益等事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。

全事業の経常費用390,887,000円に対する、公益目標事業の経常費用360,708,000円の比率が92.3%と、50%を超えている。

(3) 遊休財産額、すなわち、現在、今後とも、特に使用されていない財産の価格の合計額が公益目標事業の1年間実施するのに必要な額を超えないこと。

平成30年度の遊休財産見込額は174,911,000円で、公益目的事業の経常費用360,708,000円を超えていない。

収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	45,200	45,200	0
正 会 員 受 取 会 費	45,200	45,200	0
事 業 収 益	264,138	244,922	19,216
研 修 会 事 業 収 益	17,496	12,596	4,900
介 護 保 険 収 益	117,746	100,428	17,318
療 養 費 収 益	101,627	103,269	△ 1,642
利 用 料 収 益	9,607	7,961	1,646
居宅介護サービス計画費収益	9,637	10,008	△ 371
療養通所介護費収益	6,705	9,340	△ 2,635
児 童 発 達 支 援 収 益	0	0	0
施 設 使 用 料 収 益	1,204	1,204	0
電 気 使 用 料 収 益	73	73	0
販 売 手 数 料 収 益	43	43	0
事 業 受 託 収 益	43,138	30,168	12,970
佐賀県受託事業収益	30,654	29,501	1,153
民 間 受 託 事 業 収 益	12,484	667	11,817
受 取 補 助 金 等	10,384	10,384	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取日本看護協会助成金	8,000	8,000	0
受取補助金等振替額	2,384	2,384	0
受 取 寄 付 金	13,073	13,073	0
受 取 寄 付 金	400	400	0
受取寄付金振替額	12,673	12,673	0
雑 収 益	2,733	2,733	0
受 取 利 息	58	58	0
雑 収 益	2,675	2,675	0
引 当 金 戻 入 額	0	0	0
賞 与 引 当 金 戻 入	0	0	0
経 常 収 益 計	378,666	346,480	32,186
(2) 経常費用			
事 業 費	363,077	334,221	28,856
役 員 報 酬	2,253	2,253	0
給 料 手 当	153,953	151,594	2,359
雇 員 報 酬	49,350	43,950	5,400
講 師 報 酬	12,696	9,392	3,304
臨 時 雇 用 賃 金	7,310	5,287	2,023
退 職 給 付 費 用	0	123	△ 123
中 退 金 繰 入 額	4,543	4,962	△ 419
会 員 福 利 厚 生 費	399	399	0

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
職 員 福 利 厚 生 費	32,440	31,289	1,151
会 議 費	392	337	55
旅 費 交 通 費	6,265	4,870	1,395
通 信 運 搬 費	4,534	4,344	190
車 両 費	1,802	1,456	346
減 価 償 却 費	21,668	21,490	178
医 療 消 耗 器 材 費	262	278	△ 16
衛 生 材 料 費	1,620	1,400	220
消 耗 什 器 備 品 費	440	491	△ 51
消 耗 品 費	7,820	6,934	886
修 繕 費	430	230	200
印 刷 製 本 費	5,362	4,688	674
燃 料 費	2,895	2,572	323
光 熱 水 料 費	4,153	3,951	202
賃 借 料	4,066	4,303	△ 237
給 食 材 料 費	2,519	1,534	985
保 険 料	2,279	1,862	417
諸 謝 金	1,908	1,048	860
租 税 公 課	3,171	2,732	439
支 払 負 担 金	463	356	107
委 託 費	17,841	10,206	7,635
支 払 利 息	500	670	△ 170
支 払 手 数 料	958	868	90
雑 費	503	200	303
賞 与 引 当 金 繰 入	8,282	8,152	130
管 理 費	27,810	28,432	△ 622
役 員 報 酬	8,667	8,667	0
給 料 手 当	5,382	5,260	122
講 師 報 酬	93	93	0
中 退 金 繰 入 額	176	88	88
退 職 給 付 費 用	0	169	△ 169
職 員 福 利 厚 生 費	1,419	1,407	12
会 議 費	77	827	△ 750
旅 費 交 通 費	2,913	2,965	△ 52
通 信 運 搬 費	330	348	△ 18
減 価 償 却 費	2,968	2,968	0
消 耗 什 器 備 品 費	0	0	0
消 耗 品 費	211	211	0
修 繕 費	0	0	0
印 刷 製 本 費	650	467	183
燃 料 費	0	0	0
光 熱 水 料 費	539	539	0
賃 借 料	521	546	△ 25
保 険 料	42	42	0

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
租 税 公 課	492	492	0
支 払 負 担 金	896	896	0
委 託 費	1,808	1,821	△ 13
支 払 利 息	0	0	0
支 払 手 数 料	229	229	0
雑 費	30	30	0
賞 与 引 当 金 繰 入	367	367	0
経 常 費 用 計	390,887	362,653	28,234
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,221	△ 16,173	3,952
損 益 評 価 等 計			0
当 期 経 常 増 減 額	△ 12,221	△ 16,173	3,952
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 売 却 損	0	0	0
什 器 備 品 売 却 損	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 12,221	△ 16,173	3,952
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	337,639	353,812	△ 16,173
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	325,418	337,639	△ 12,221
II 指定正味財産増減の部			
受 取 補 助 金 等	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0
受 取 国 庫 補 助 金	0	0	0
受 取 寄 付 金	16,000	19,000	△ 3,000
募 金 収 益	16,000	19,000	△ 3,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 15,057	△ 15,057	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 15,057	△ 15,057	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	943	3,943	△ 3,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	314,829	310,886	3,943
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	315,772	314,829	943
III 正味財産期末残高	641,190	652,468	△ 11,278

収 支 予 算

平成30年4月1日から

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護以外各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	22,600,000	0	0	0	0
正会員受取会費	22,600,000	0	0	0	0
事業収益	17,496,000	161,704,000	9,639,000	7,348,000	66,635,000
研修会事業収益	17,496,000	0	0	0	0
介護保険収益	0	55,177,000	0	0	62,569,000
療養費収益	0	101,627,000	0	0	0
利用料収益	0	4,900,000	0	641,000	4,066,000
居宅介護サービス計画費収益	0	0	9,637,000	0	0
療養通所介護費収益	0	0	0	6,705,000	0
児童発達支援収益	0	0	0	0	0
施設使用料収益	0	0	0	0	0
電気使用料収益	0	0	0	0	0
販売手数料収益	0	0	0	0	0
事業受託収益	33,877,000	9,261,000	0	0	0
佐賀県受託事業収益	21,393,000	9,261,000	0	0	0
民間受託事業収益	12,484,000	0	0	0	0
受取補助金等	8,000,000	2,333,000	0	0	51,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0
受取日本看護協会助成金	8,000,000	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	2,333,000	0	0	51,000
受取寄付金	9,632,000	0	0	0	284,000
受取寄付金	400,000	0	0	0	0
受取寄付金振替額	9,232,000	0	0	0	284,000
雑収益	53,000	901,000	2,000	2,000	2,000
受取利息	53,000	1,000	1,000	1,000	1,000
雑収益	0	900,000	1,000	1,000	1,000
引当金戻入額	0	0	0	0	0
賞与引当金戻入	0	0	0	0	0
経常収益計	91,658,000	174,199,000	9,639,000	7,348,000	66,972,000
(2) 経常費用					
事業費	105,447,000	170,121,000	11,238,000	6,961,000	66,941,000
役員報酬	2,253,000	0	0	0	0
給料手当	28,240,000	72,820,000	8,100,000	2,670,000	42,000,000
雇員報酬	50,000	41,300,000	0	1,200,000	6,800,000
講師報酬	12,401,000	295,000	0	0	0
臨時雇用賃金	5,368,000	1,942,000	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0
中退金繰入額	707,000	2,100,000	324,000	60,000	1,348,000

書内訳表

平成31年 3月31日まで

(単位：千円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	収 1	他 1	小 計	法 人 会 計	一 般 事 業	
22,600,000	0	1,000,000	1,000,000	21,600,000	0	45,200,000
22,600,000	0	1,000,000	1,000,000	21,600,000	0	45,200,000
262,818,000	1,320,000	0	1,320,000	0	0	264,138,000
17,496,000	0	0	0	0	0	17,496,000
117,746,000	0	0	0	0	0	117,746,000
101,627,000	0	0	0	0	0	101,627,000
9,607,000	0	0	0	0	0	9,607,000
9,637,000	0	0	0	0	0	9,637,000
6,705,000	0	0	0	0	0	6,705,000
0	0	0	0	0	0	0
0	1,204,000	0	1,204,000	0	0	1,204,000
0	73,000	0	73,000	0	0	73,000
0	43,000	0	43,000	0	0	43,000
43,138,000	0	0	0	0	0	43,138,000
30,654,000	0	0	0	0	0	30,654,000
12,484,000	0	0	0	0	0	12,484,000
10,384,000	0	0	0	0	0	10,384,000
0	0	0	0	0	0	0
8,000,000	0	0	0	0	0	8,000,000
2,384,000	0	0	0	0	0	2,384,000
9,916,000	309,000	0	309,000	2,848,000	0	13,073,000
400,000	0	0	0	0	0	400,000
9,516,000	309,000	0	309,000	2,848,000	0	12,673,000
960,000	72,000	0	72,000	1,701,000	0	2,733,000
57,000	0	0	0	1,000	0	58,000
903,000	72,000	0	72,000	1,700,000	0	2,675,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
349,816,000	1,701,000	1,000,000	2,701,000	26,149,000	0	378,666,000
0						
360,708,000	1,483,000	886,000	2,369,000	0	0	363,077,000
2,253,000	0	0	0	0	0	2,253,000
153,830,000	67,000	56,000	123,000	0	0	153,953,000
49,350,000	0	0	0	0	0	49,350,000
12,696,000	0	0	0	0	0	12,696,000
7,310,000	0	0	0	0	0	7,310,000
0	0	0	0	0	0	0
4,539,000	2,000	2,000	4,000	0	0	4,543,000

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護以外各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
会 員 福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0
職 員 福 利 厚 生 費	4,826,000	18,136,000	1,330,000	635,000	7,495,000
会 議 費	296,000	66,000	10,000	10,000	10,000
旅 費 交 通 費	4,980,000	1,175,000	10,000	50,000	50,000
通 信 運 搬 費	1,772,000	2,322,000	200,000	75,000	75,000
車 両 費	0	1,456,000	0	129,000	217,000
減 価 償 却 費	11,276,000	8,088,000	111,000	211,000	806,000
医 療 消 耗 器 材 費	22,000	200,000	0	20,000	20,000
衛 生 材 料 費	0	1,400,000	0	0	220,000
消 耗 什 器 備 品 費	0	250,000	0	100,000	90,000
消 耗 品 費	4,271,000	2,650,000	85,000	174,000	640,000
修 繕 費	0	400,000	0	0	30,000
印 刷 製 本 費	5,162,000	190,000	10,000	0	0
燃 料 費	50,000	2,125,000	140,000	140,000	440,000
光 熱 水 料 費	1,658,000	1,420,000	48,000	310,000	657,000
賃 借 料	2,428,000	956,000	44,000	187,000	440,000
給 食 材 料 費	0	0	0	326,000	2,193,000
保 険 料	123,000	1,701,000	30,000	148,000	271,000
諸 謝 金	1,006,000	902,000			
租 税 公 課	1,803,000	1,173,000	5,000	41,000	95,000
支 払 負 担 金	0	224,000	104,000	45,000	90,000
委 託 費	13,937,000	2,440,000	227,000	281,000	537,000
支 払 利 息	0	500,000	0	0	0
支 払 手 数 料	669,000	270,000	5,000	1,000	10,000
雑 費	323,000	110,000	10,000	10,000	50,000
賞 与 引 当 金 繰 入	1,826,000	3,510,000	445,000	138,000	2,357,000
管 理 費	0	0	0	0	0
役 員 報 酬	0	0	0	0	0
給 料 手 当	0	0	0	0	0
講 師 報 酬	0	0	0	0	0
中 退 金 繰 入 額	0	0	0	0	0
退 職 給 付 費 用					
職 員 福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
旅 費 交 通 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
光 熱 水 料 費	0	0	0	0	0
賃 借 料	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0

(単位：千円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	収 1	他 1	小 計	法 人 会 計	一 般 事 業	
0	0	399,000	399,000	0	0	399,000
32,422,000	10,000	8,000	18,000	0	0	32,440,000
392,000	0	0	0	0	0	392,000
6,265,000	0	0	0	0	0	6,265,000
4,444,000	0	90,000	90,000	0	0	4,534,000
1,802,000	0	0	0	0	0	1,802,000
20,492,000	1,176,000	0	1,176,000	0	0	21,668,000
262,000	0	0	0	0	0	262,000
1,620,000	0	0	0	0	0	1,620,000
440,000	0	0	0	0	0	440,000
7,820,000	0	0	0	0	0	7,820,000
430,000	0	0	0	0	0	430,000
5,362,000	0	0	0	0	0	5,362,000
2,895,000	0	0	0	0	0	2,895,000
4,093,000	60,000	0	60,000	0	0	4,153,000
4,055,000	5,000	6,000	11,000	0	0	4,066,000
2,519,000	0	0	0	0	0	2,519,000
2,273,000	6,000	0	6,000	0	0	2,279,000
1,908,000				0		1,908,000
3,117,000	54,000	0	54,000	0	0	3,171,000
463,000	0	0	0	0	0	463,000
17,422,000	98,000	321,000	419,000	0	0	17,841,000
500,000	0	0	0	0	0	500,000
955,000	2,000	1,000	3,000	0	0	958,000
503,000	0	0	0	0	0	503,000
8,276,000	3,000	3,000	6,000	0	0	8,282,000
0	0	0	0	27,810,000	0	27,810,000
0	0	0	0	8,667,000	0	8,667,000
0	0	0	0	5,382,000	0	5,382,000
0	0	0	0	93,000	0	93,000
0	0	0	0	176,000	0	176,000
0						0
0	0	0	0	1,419,000	0	1,419,000
0	0	0	0	77,000	0	77,000
0	0	0	0	2,913,000	0	2,913,000
0	0	0	0	330,000	0	330,000
0	0	0	0	2,968,000	0	2,968,000
0	0	0	0	211,000	0	211,000
0	0	0	0	650,000	0	650,000
0	0	0	0	539,000	0	539,000
0	0	0	0	521,000	0	521,000
0	0	0	0	42,000	0	42,000

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護以外各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
租 税 公 課	0	0	0	0	0
支 払 負 担 金	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
支 払 利 息	0	0	0	0	0
支 払 手 数 料	0	0	0	0	0
雑 費	0	0	0	0	0
賞 与 引 当 金 繰 入	0	0	0	0	0
経 常 費 用 計	105,447,000	170,121,000	11,238,000	6,961,000	66,941,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,789,000	4,078,000	△ 1,599,000	387,000	31,000
損 益 評 価 等 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 13,789,000	4,078,000	△ 1,599,000	387,000	31,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 13,789,000	4,078,000	△ 1,599,000	387,000	31,000
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	127,156,412	107,853,553	2,866,498	7,924,686	△ 1,413,506
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	113,367,412	111,931,553	1,267,498	8,311,686	△ 1,382,506
II 指定正味財産増減の部					
受 取 補 助 金 等	0	0	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	0	0
受 取 県 補 助 金	0	0	0	0	0
受 取 寄 付 金	19,000,000	0	0	0	0
募 金 収 益	19,000,000	0	0	0	0
施 設 維 持 管 理 資 金 抛 出 金	19,000,000	0	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 9,232,000	△ 2,333,000	0	0	△ 335,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 9,232,000	△ 2,333,000	0	0	△ 335,000
地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	△ 2,333,000	0	0	△ 51,000
寄 付 金	△ 9,232,000	0	0	0	△ 284,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	9,768,000	△ 2,333,000	0	0	△ 335,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	250,600,422	15,855,882	0	10,763	917,268
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	260,368,422	13,522,882	0	10,763	582,268
III 正味財産期末残高	373,735,834	125,454,435	1,267,498	8,322,449	△ 800,238

(単位：千円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	収 1	他 1	小 計	法 人 会 計	一 般 事 業	
0	0	0	0	492,000	0	492,000
0	0	0	0	896,000	0	896,000
0	0	0	0	1,808,000	0	1,808,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	229,000	0	229,000
0	0	0	0	30,000	0	30,000
0	0	0	0	367,000	0	367,000
360,708,000	1,483,000	886,000	2,369,000	27,810,000	0	390,887,000
△ 10,892,000	218,000	114,000	332,000	△ 1,661,000	0	△ 12,221,000
0	0	0	0	0	0	0
△ 10,892,000	218,000	114,000	332,000	△ 1,661,000	0	△ 12,221,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
△ 10,892,000	218,000	114,000	332,000	△ 1,661,000	0	△ 12,221,000
244,387,643	19,385,185	304,553	19,689,738	73,561,701	0	337,639,082
233,495,643	19,603,185	418,553	20,021,738	71,900,701	0	325,418,082
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
19,000,000	0	0	0	0	0	19,000,000
19,000,000	0	0	0	0	0	19,000,000
19,000,000	0	0	0	0	0	19,000,000
△ 11,900,000	△ 309,000	0	△ 309,000	△ 2,848,000	0	△ 15,057,000
△ 11,900,000	△ 309,000	0	△ 309,000	△ 2,848,000	0	△ 15,057,000
△ 2,384,000	0	0	0	0	0	△ 2,384,000
△ 9,516,000	△ 309,000	0	△ 309,000	△ 2,848,000	0	△ 12,673,000
7,100,000	△ 309,000	0	△ 309,000	△ 2,848,000	0	3,943,000
267,384,335	4,657,217	0	4,657,217	42,787,841	0	314,829,393
274,484,335	4,348,217	0	4,348,217	39,939,841	0	318,772,393
507,979,978	23,951,402	418,553	24,369,955	111,840,542	0	644,190,475

平成30年度佐賀県看護協会教育計画

●アミ掛けの項目は別途案内研修です。●詳細は、会員各位に配布しております教育計画冊子をご参照ください。
●各研修会の開始時間および終了時間が異なっておりますご注意ください。

月	日	曜日	時 間	申込締切日	テ	ー	マ	定員	レベル	TNo.
4	5	木	8:30~17:15	2月28日	平成30年度診療報酬・介護報酬改定説明会			100		
	10	火	8:30~17:15	2月28日	平成30年度診療報酬・介護報酬改定説明会			100		
5	26	木	10:00~16:00	4月2日	LET'S看護研究!			100	I	1
	15	火	10:00~16:00	4月17日	がん患者の疼痛コントロール			50	II III	2
5	16	水	13:30~16:30	4月18日	感染対策の基礎編 ~知っている!分かっていない!でも、出来ている?~			100	II III	3
	20	日	10:00~16:00	4月23日	小児のフィジカルアセスメント			50	II III	4
	22	火	10:00~16:00	4月24日	人間関係とリスクマネジメント ~元気で安全な職場づくり~			50	II III	5
	23	水	13:30~16:30	4月25日	看護師が知っておきたい「アルコール依存症」			50		6
	29	火	10:00~16:00	5月1日	組織・チーム力を高めるリーダーシップ			50	IV	7
	5	火	13:30~16:30	5月8日	新人のための心電図			60	I	8
	7	木	10:00~16:00	5月10日	糖尿病患者の予防ケア			50	I II III	9
6	9	土	13:00~16:00	5月14日	地域包括ケアにおける新しい連携による取り組み			100		10
	12	火	10:00~16:00	5月15日	がん化学療法を受ける患者の看護			50	II III	11
	14	木	10:00~16:00	5月17日	医療・看護におけるリスクマネジメントの基礎と実際			50	III IV	12
	19	火	2日間 10:00~16:00	5月22日	看護専門職としての育成を支援するコーチング			50	III IV	13
7	28	木	10:00~16:00	5月31日	基礎から学ぶフィジカルアセスメント			100	I II	14
	8	日	13:30~16:30	6月11日	開業助産師に聞いてみよう! 出産体験満足度を高める会陰保護のテクニック			50	I II III	15
	12	木	10:00~16:00	6月14日	術中・術後の看護			50	II III	16
	18	水	13:30~16:30	6月20日	心電図 I ~基礎編~			100	II III	17
8	24	火	2日間 9:30~16:30	6月26日	No.132 看護研修学校 (オンデマンド) 認知症高齢者の看護実践に必要な知識			100		
	31	火	10:00~16:00	7月3日	摂食・嚥下障害のある患者の看護 ~正しい知識で誤差を防ごう~			50	I II III	18
8	2	木	13:30~16:30	7月5日	一般病棟で役に立つ! 精神症状アセスメントとケア			50	I II III	19
	8	水	10:00~16:00	7月11日	フィジカルアセスメントとケア ~見て、聴いて、触れてみて~			50	II III	20
8	21	火	2日間 9:30~16:30	7月24日	神戸研修センター (オンデマンド) 災害支援ナースの第一歩 ~災害看護の基本的知識~			50		
	29	水	13:30~16:30	8月1日	心電図 II ~不整脈編~			100	II III	21

月	日	曜日	時 間	申込締切日	テ	ー	マ	定員	レベル	TNo.
4	4	火	2日間 9:30~16:30	8月7日	神戸研修センター (オンデマンド) 多死社会に求められる看取りの看護			100		
	5	水								
9	7	金	10:00~16:00	8月10日	現場で活かせるスキニングケア			100	I II III	22
	8	土	13:30~16:30	8月13日	高齢者ケア ~チームで取り組む転倒予防~			50	I II III	23
10	20	木	10:00~16:00	8月23日	呼吸不全患者の病態に合わせた看護 ~症状と検査データを看護につなげる~			50	II III	24
	27	木	10:00~16:00	8月30日	知っておきたい統計学の基礎			30		25
10	10	水	10:00~16:00	9月12日	チームで取り組む認知症ケア			50	I II III	26
	11	木	13:30~16:30	9月13日	看護研究発表のための効果的なプレゼンテーション			30		27
10	16	火	10:00~16:00	9月18日	急変時のフィジカルアセスメント			50	I II	28
	18	木	10:00~16:00	9月20日	チームで取り組む栄養管理			50	II III	29
11	29	月	13:00~16:30	10月1日	リスクマネージャー交流会			50		
	8	木	10:00~16:00	10月11日	退院支援~退院後の安心できる生活のために~			50	III IV	30
11	13	火	10:00~16:00	10月16日	脳卒中患者の治療と看護 ~病態から診る症状とその看護~			50	I II III	31
	15	木	2日間 10:00~16:00	10月18日	災害支援ナースの育成			50		32
12	20	火	10:00~16:00	10月23日	論理的思考と小論文の書き方			50		33
	8	土	10:00~16:00	11月12日	排泄ケア~ケアレベルを向上させよう~			50	I II	34
H31	12	水	13:30~16:30	11月14日	災害支援ナース登録者研修			50		
	23	水	10:00~16:00	12月26日	みんなで理解しよう!「発達障害」のこと			50		35
2	7	木	10:00~16:00	1月10日	その人らしい最期を迎えるために			50		36
	7	木	13:30~16:30	2月7日	次年度 事業説明会			100		
3	10	日	10:00~16:00		佐賀県看護研究学会			800		
	8	10	金	10:00~16:00	7月13日	看護倫理 ~現場で求められる大事なこと~			50	II III
9	9	土	14:00~16:00		働き方を見直して人生を豊かに!			100		38
	11	月	10:00~16:00		看護職者が輝いて働くために			100		39
H31	1	火	10:00~16:00		取り組んでみよう「ワーク・ライフ・バランス」			40		40
					准看護師研修会			50		

会員福利厚生のご紹介

今回掲載している施設の他にも色々な会員福利厚生があります！
みなさん、是非ご利用ください！

公益社団法人 佐賀県看護協会 会員様へお知らせ

だれでも!! 泊まれる。

2018年5月1日から

提携施設に、新たに『かんぽの宿』が加わりました!

かんぽの宿

「かんぽの宿」は、どなたでも気軽にご利用いただける宿泊施設です。

会員証をチェックインの際に提出いただいた佐賀県看護協会会員様のご利用料金を500円割引させていただきます。

※次の場合は割引対象外となります。 例) 1泊2食 12,000円のプランをご利用の大人の方(中学生以上)

- ・1泊2食未満の商品のご利用
- ・6歳以下(小学生を除く。)のご利用
- ・かんぽの宿が定めた繁忙期又は特別日のご利用
- ・かんぽの宿が割引対象外と定めた商品
- ・割引券、クーポン券等の他の優待を受ける場合
- ・かんぽの宿(電話・公式サイト)へ直接お申込みいただかなかった場合(他社のインターネット予約サイト、旅行代理店等を通じた申込み)

12,000円 - 500円(割引) = 11,500円



Web 予約

Happy 1000!

かんぽの宿 夏の新規入会キャンペーン

公式サイトからのかんぽの宿メンバーズカード新規ご入会＆宿泊ご予約で!

お礼として1,000ポイントプレゼント!

さらに 宿泊利用額 1,000円分 付与!

キャンペーン期間: 2018年4月1日(日)～6月30日(土)

※料金は税込みです。

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

期間中 [2018年8月1日(水)～8月31日(金)] に限り

無料ご招待

【会員とご家族様 対象】

入園 + アトラクション利用のパスポートチケット (通常1名 2,900円) が無料! ※一部アトラクションは別料金となります。

♪ Day Parade PARALLEL Night Stargate

♪ びしょ濡れ冒険の 水かばカーニバル

♪ おもいで乗る♪ おぼけ音頭♪ DORORONRON

4/23新登場! アトラクション SANRIO CHARACTER HILLS

◆料金: 700円 (平日パスポートチケット 通常2,900円) ◆場所: 園外展示場 第4駐車場 (おぼけ音頭専用)

イベント情報など詳しくはHP! ハーモニーランド

大分県速見郡日出町大字藤原5933番地 ©76.01.93.96.01.05.09.12.18 SANRIO

★印が夜間営業日

2018年8月

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
1	2	3	4	5		
★6	★7	★8	★9	★10	★11	★12
★13	★14	★15	★16	★17	★18	★19
★20	★21	★22	★23	★24	★25	★26
★27	★28	★29	★30	★31		

★印が夜間営業日

《営業時間》 ※入園は開園の1時間前まで

- 9:00~17:00
- 10:00~19:00
- 10:00~17:00
- 9:00~21:00
- 9:00~19:00

ご利用方法

下記利用申請書に必要な事項をご記入の上、必ず「佐賀県看護協会会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。
必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。
※企画内容・利用申請書の記載方法に関しては、協会窓口へお問合せください。
(TEL.0952-68-3299)

佐賀県看護協会 会員専用 ハーモニーランド 利用申請書 (会員代表者を含む7名様まで)

【対象期間】2018年8月1日(水)～8月31日(金)

会員番号	氏名		
利用申請者 (4歳以上の方)	氏名	氏名	氏名
※4歳未満の方は無料となりますので記入不要です。	氏名	氏名	氏名

ご利用日 月 日 ご利用者合計数(4歳以上) 名様 ※お名前前の記入欄が不足する場合は「利用申請書」をコピーしてご利用ください。

協会からの お知らせ

□平成30年度 佐賀県看護研究学会の日程と場所が決まりました。

日 程：平成31年3月10日（日）

場 所：ゆめぶらっと小城

今年度から、抄録原稿の書式設定および執筆要領が変更になりました。
教育計画書（P19～）をよく読んで提出してください。



理事会等報告

常任理事会 平成30年1月25日(木)

1. 次回の理事会(2月3日開催)打合せ
2. 平成29年度佐賀県看護研究学会について
3. 平成29年度事業報告(4月～12月)
4. 看護センター施設維持管理拠出金の取り扱いについて(案)
5. 日本看護学会—在宅看護—学術集会準備委員会について
6. 四師会について
7. 人事について

理事会 平成30年2月3日(土)

協議事項の審議

1. 平成29年度佐賀県看護研究学会について
2. 平成30年度教育計画(案)について
3. 看護センター施設維持管理拠出金の取扱いについて
4. 平成30年度特別委員会委員の交代について

報告事項

1. 平成29年度事業報告(4月～12月)
2. 看護職のワークライフバランス推進ワークショップフォローアップについて
3. 全国会議等報告
4. 特別委員会報告
5. その他

常任理事会 平成30年3月12日(月)

1. 次回の理事会(3月17日開催)打合せ
2. 平成30年度佐賀県看護協会通常総会について
3. 補正予算について
4. 資産取得資金の保有について
5. 平成30年度事業計画(案)・予算(案)について
6. 人事について
7. 職員給与規定の改定について
8. 平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者(案)について
9. 第49回 日本看護学会—在宅看護—学術集会準備委員会について
10. その他

理事会 平成30年3月17日(土)

協議事項の審議

1. 公益社団法人佐賀県看護協会 名誉会員推薦について
2. 平成30年度佐賀県看護協会通常総会について
3. 補正予算(案)について
4. 資産取得資金の保有(案)について
5. 平成30年度事業計画書(案)について

6. 平成30年度収支予算書等(案)について
7. 職員給与規定の改定について
8. 人事について

報告事項

1. 日本看護協会理事会・法人会員会報告
2. 都道府県職能委員長会報告
3. 平成29年度佐賀県看護研究学会開催結果について
4. 特別委員会等会議報告
5. 平成30年度「看護の日・看護週間」事業について
6. 看護センター施設維持管理資金拠出金納入状況について
7. 平成30年度看護政策推進のための組織強化事業について
8. その他

常任理事会 平成30年4月12日(木)

1. 次回の理事会打合せ(4月21日開催)
2. 佐賀県看護協会定款の一部改正について
3. 平成30年度改選役員(案)及び推薦委員(案)について
4. 平成31年度代議員・予備代議員選出について
5. 平成30年度 職能委員会・常任委員会・特別委員会委員の選任及び交代について
6. 第49回日本看護学会—在宅看護—学術集会について
7. 公益社団法人佐賀県看護協会会長表彰について
8. その他

理事会 平成30年4月21日(土)

協議事項の審議

1. 佐賀県看護協会定款の一部改正について
2. 平成30年度改選役員(案)及び推薦委員(案)について
3. 平成31年度代議員・予備代議員(案)について
4. 職能委員会委員、常任委員会委員、特別委員会委員の選任及び交代について
5. 公益社団法人佐賀県看護協会研究倫理委員会設置について

報告事項

1. 平成30年度看護事業功労者県知事感謝状受賞者について
2. 特別委員会等会議報告
 - 1) 看護制度委員会 3/19
 - 2) 創立70周年記念事業検討委員会 3/20
 - 3) 認定看護管理者教育運営委員会 3/22
 - 4) 学術集会準備委員会 3/22
 - 5) 看護政策責任者会議(日看協) 3/27
 - 6) 学術集会抄録選考委員会 4/7
 - 7) 災害看護委員会 4/11
3. その他
 - 1) 佐賀県看護協会監査 5/16
 - 2) 代議員・予備代議員事前研修会について 5/19

編集後記

5月になり新緑のすがすがしい季節となりました。新しい環境にも皆様慣れましたか？
広報出版委員会のメンバーも今号で半数が交代となります。今まで表紙や特集にご協力
いただいた皆様、ありがとうございました。

広報出版委員会 鈴木衆哉 永淵弥生 島田道子 徳永隆晃 下尾栄美 寺崎明

